TOSHIBA
Leading Innovation >>>

REGZA
レグザブルーレイ

東芝ブルーレイディスクプレーヤー/ライター
取扱説明書

形名 D-BR1



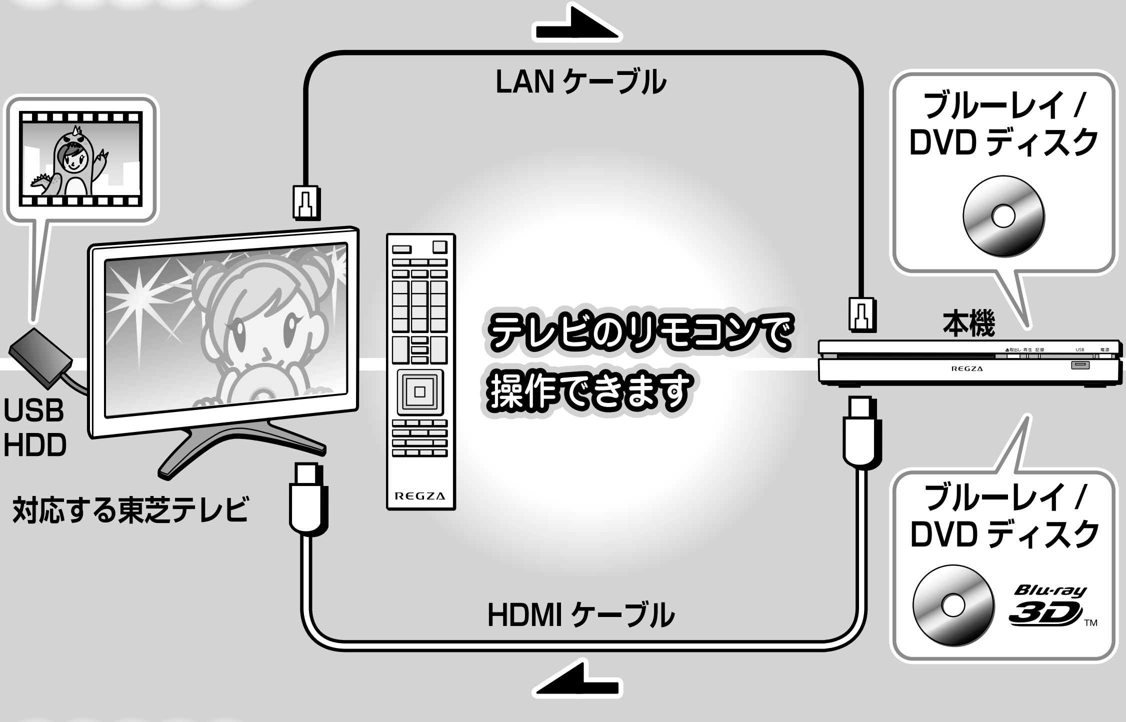
必ず最初に
「安全上のご注意」（61～）と
「使用上のお願いとご注意」
（66～）をお読みください。

- このたびは東芝ブルーレイディスクプレーヤー／ライターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めのブルーレイディスクプレーヤー／ライターを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
  お読みになったあとはいつも手元において ご使用ください。
- 本機の接続や設定で「わからない」「困った！」そんなときは、「困ったときは?」（⇨48 ページ）「さくいん」（⇨69 ページ）をご覧ください。

Blu-ray Disc™　Blu-ray 3D™　BD LIVE™　DVD VIDEO/RW/R　COMPACT disc DIGITAL AUDIO
AVCREC™　BONUS VIEW™　AVCHD™　x.v.Color　Java™ POWERED
DOLBY TRUE HD DIGITAL PLUS　dts-HD Master Audio | Essential　HDMI

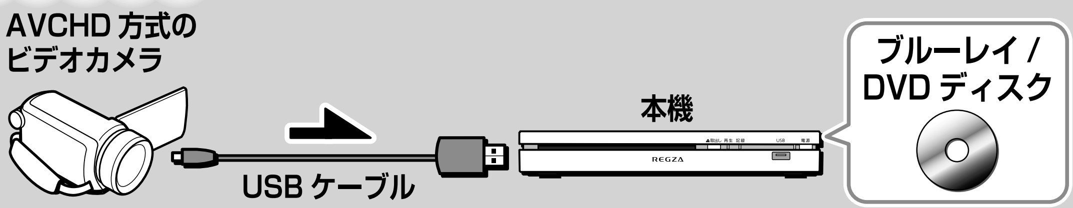
本機の特長

ダビング 1　テレビで録画した番組を、ブルーレイディスクへダビング

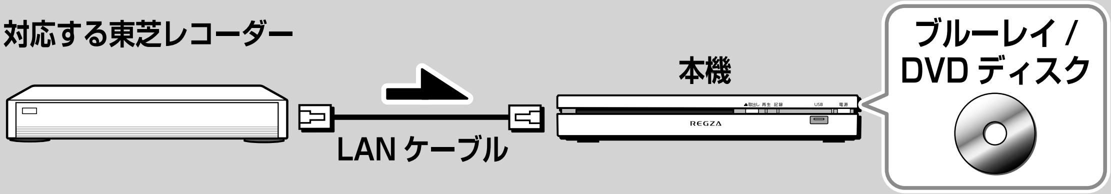


見る　ブルーレイディスクの再生

ダビング 2　ビデオカメラから、ブルーレイディスクへダビング



ダビング 3　レコーダーから、ブルーレイディスクへダビング



もくじ

「安全上のご注意」（61☞～）と「使用上のお願いとご注意」（66☞～）を必ず最初にお読みください。

ご使用の前に

レグザリンクで操作する

レグザリンク・ダビングする

ビデオカメラからダビングする

レコーダーからダビングする

ディスクを再生する

その他

この取扱説明書内のマークの見かた

お知らせ　機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

ご注意　取扱上のご注意を記載しています。

☞　参照していただきたい情報が記載されているページの番号を示しています。

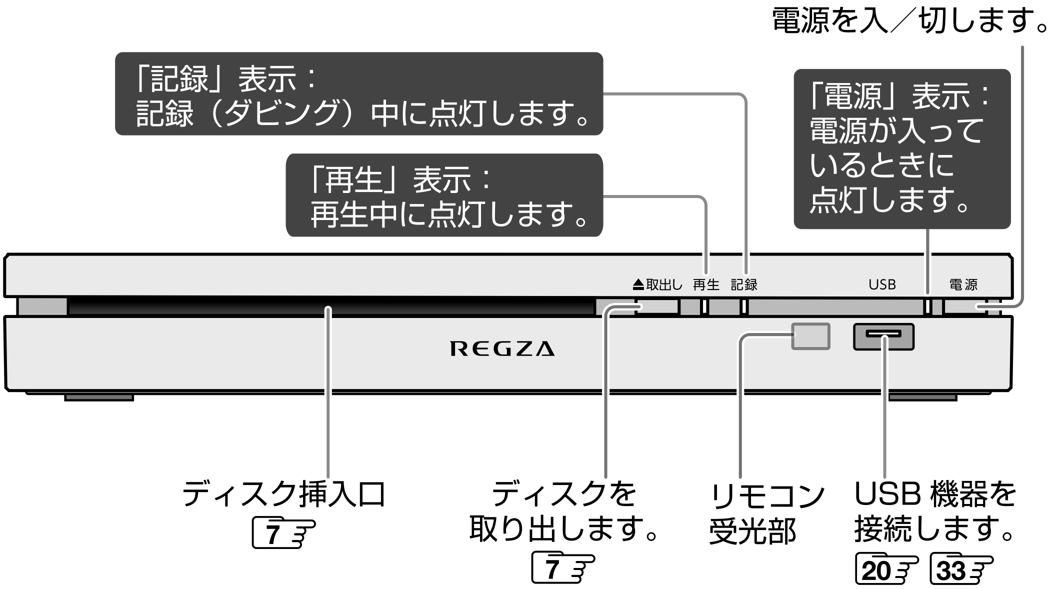
本機で使用できるディスクやフォーマットを表すマーク

マークが表示されていない機能は、使用できない・対応していないことを表します。

BD-Video	映画ソフトなど、市販のBD-Videoディスク	VRフォーマット	VRフォーマットのDVD-R/RW/RAM
DVD-Video	映画ソフトなど、市販のDVD-Videoディスク	Videoフォーマット	VideoフォーマットのDVD-R/RW
BD-RE	記録済みBD-RE	BDAVフォーマット	BDAVフォーマットのDVD-R/RW/RAM
BD-R	記録済みBD-R	CD	CD-DAフォーマットの音楽用CD

各部のなまえ

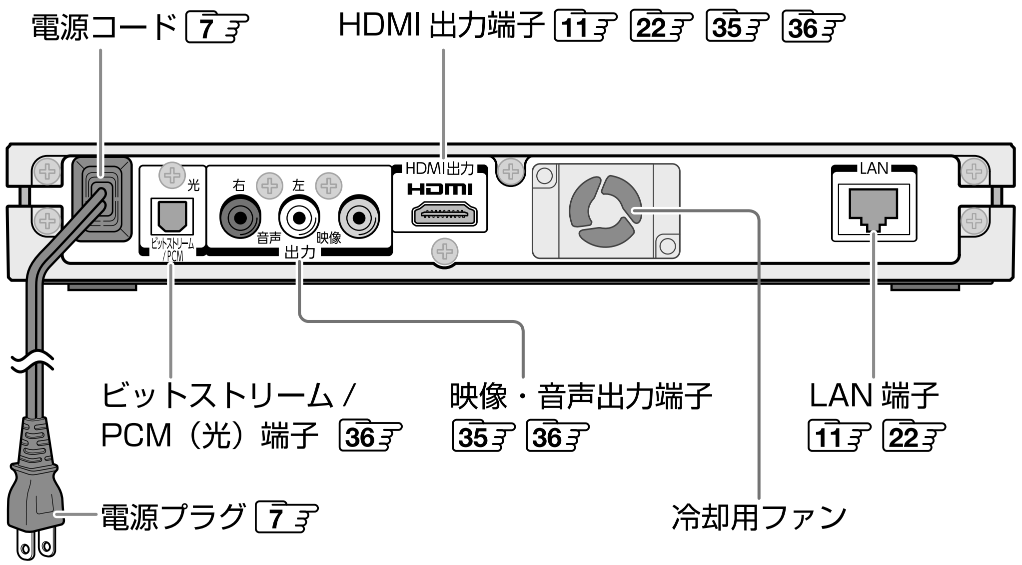
前面



お知らせ

● 本機では、USB HDDを使用することはできません。

背面



リモコン



ディスクを取り出す

音声・字幕・アングルを切り換える

本機の操作画面などで、英数字を入力するときに使います。

「ディスクメニュー」を表示する

本機の操作画面などで使います。

「トップメニュー」を表示する

方向ボタン：選ぶ
決定ボタン：決定する

一つ前の画面に戻る

本機の設定画面や、メニュー画面などを終了する

再生状態を表示する

電源を入れる / 切る

ダビングするときの画質を設定する

本機の設定を確認・変更する

ディスクに記録されたタイトルを表示する

「ポップアップ / メニュー」を表示する

「クイックメニュー」を表示する

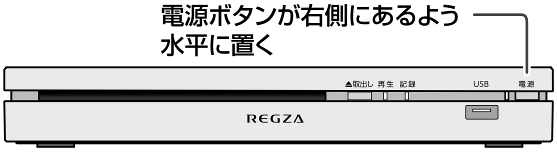
ディスクを再生するときに使います。 28

- ►：再生ボタン
- ■：停止ボタン
- ❚❚：一時停止ボタン
- ◄◄：早戻しボタン
- ►►：早送りボタン
- ❙◄◄ / ►►❙：スキップボタン
- ワンタッチリプレイボタン
- ワンタッチスキップボタン
- ❚❚►：コマ送りボタン
- ❚►：スローボタン

本体とリモコンを準備する

本体を設置する

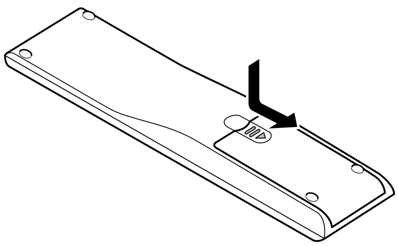
本機を使用するときは、安定した場所で、以下のように水平に置きます。



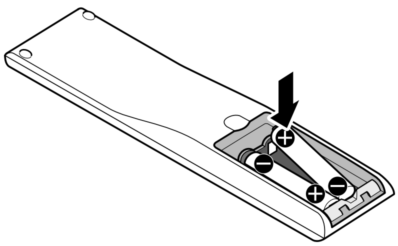
※ 垂直に立ててご使用になりたいときは、別売りの縦置きキット 70 をご購入ください。

リモコンの乾電池を入れる

1 ふたをはずす



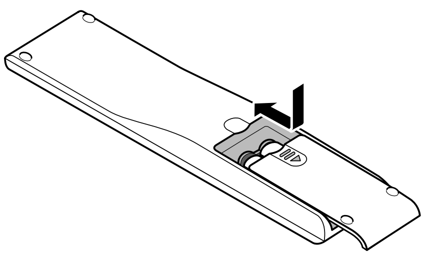
2 乾電池を入れる



● 単四形乾電池R03またはLR03を2個使用します。

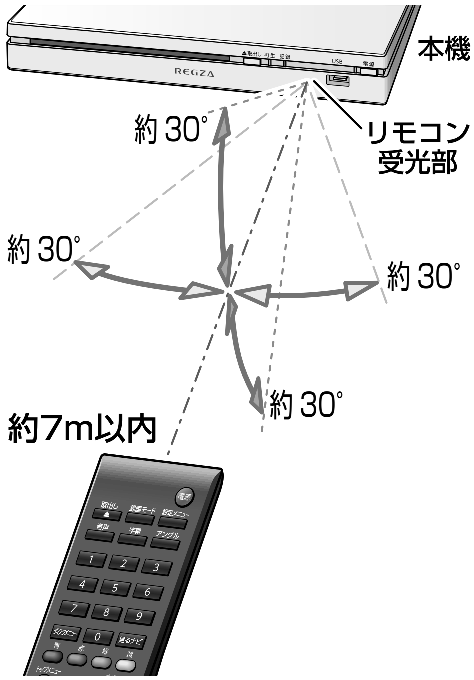
● 乾電池の＋、−を確かめてください。

3 ふたを閉める



リモコンの使用範囲

本体のリモコン受光部に向けて以下の範囲内で操作してください。



距離：リモコン受光部正面から約7m 以内
角度：リモコン受光部から上下左右約30 ° 以内

お知らせ

● リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光が当たっているときや、3Dメガネをお使いのときに、リモコンが動作しないことがあります。このようなときは、「困ったときは？」48 をご覧ください。

● 受光部が見える正面の位置から操作してください。

● 本機のリモコンモードは、東芝レコーダーの【RC5】に設定されています。

電源を入れる・ディスクを入れる

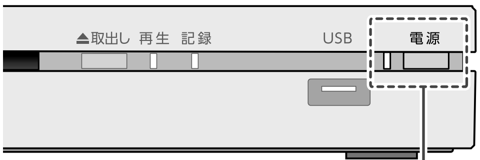
電源を入れる

1 電源プラグをコンセントに差し込む

2 本体の［電源］またはリモコンの（電源）を押す

本体前面の「電源」表示が青色に点灯します。

- 「電源」表示が点滅しているときは準備中です。そのままお待ちください。



電源ボタンと電源表示



電源ボタン

3 テレビの電源を入れる

4 テレビのチャンネルを、本機を接続した外部入力(例：HDMI 1)に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 正しい入力に切り換えると、スタートアップ画面が表示されます。
- 最初に電源を入れたときなど、時刻設定画面が表示された場合は、現在日時を設定してください。43☞

電源を切る

1 本体の［電源］またはリモコンの（電源）を押す

電源が切れ、本体前面の「電源」表示が消灯します。

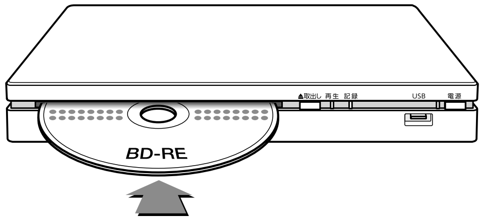
お知らせ

● 停止状態で、本機を操作せずに約30分経過すると、電源が自動で切れます。

ディスクを入れる

1 ディスクの印刷面を上にして、挿入口に入れる

- 両面記録のDVDは、再生したい面を下にして入れます。
- ディスクの初期化については、10☞ をご覧ください。



ご注意

● ディスクを入れるときは、無理に入れないでください。ディスクが挿入されている状態で別のディスクを入れると、故障の原因になります。
● ディスクの信号面(光っている面)に、指紋などがつかないようにご注意ください。ディスクに指紋などがついていると、記録できない場合があります。

■ディスクを取り出す

❶ 本体の［▲取出し］、またはリモコンの［取出し ▲］を押す

ディスクを再生しているときは、［■］を押して、再生を停止させてから行ってください。

❷ 途中まで出たディスクを手で取り出す

- ディスクが出た状態で本体を揺するなどすると、ディスクが落下することがあります。
- 途中まで出たディスクを再度挿入するときは、ディスクを一度取り出してから入れ直してください。

■暗証番号の入力画面が表示されたら

他のレコーダーなどで暗証番号が設定されているディスクは、本機で使用するときに、暗証番号を入力してください。暗証番号を入力しないと、ディスクを再生したり、ダビングしたりできません。

※ **本機では、ディスクの暗証番号の設定や変更はできません。**

ダビングについて

ダビングできる内容

内容	ブルーレイディスクへの記録	DVD への記録
データ放送	記録できません	記録できません
字幕	記録できます	記録できません
複数の映像	すべての映像を記録できます※1	主映像のみ、記録できます
マルチ音声	すべての音声を記録できます※2	１つの音声のみ、記録できます
二重音声	２つの音声を記録できます	主音声のみ、記録できます

※1 画質を変更してダビングする場合は、主映像のみ記録できます。
※2 画質を変更してダビングする場合は、２つの音声のみ記録できます。

記録時間の目安

本機で記録できる時間は、録画した番組、ディスクや録画モードなどによって異なります。
ダビングできるディスクについては 46 を、録画モードについては 9 をご覧ください。

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>BD-R/RE
(片面 1 層 25GB)</th><th>BD-R DL/RE DL
(片面 2 層 50GB)</th><th>DVD-R/RW
(片面 1 層 4.7GB)</th><th>DVD-R DL
(片面 2 層 8.5GB)</th></tr>
<tr><td rowspan="4">オート
(標準)</td><td rowspan="2">DR 録画モード</td><td>BS デジタル放送：
約 2 時間 10 分</td><td>BS デジタル放送：
約 4 時間 20 分</td><td rowspan="2">—</td><td rowspan="2">—</td></tr>
<tr><td>地上デジタル放送：
約 3 時間</td><td>地上デジタル放送：
約 6 時間</td></tr>
<tr><td>2 時間録画モード</td><td>—</td><td>—</td><td>約2時間</td><td>約 3 時間 36 分</td></tr>
<tr><td>自動で調整（ぴったりダビング対応機種のみ）</td><td>約 2 時間 10 分～
37 時間</td><td>約 4 時間 20 分～
74 時間</td><td>約 2 時間～
9 時間 48 分</td><td>約 3 時間 36 分～
17 時間 42 分</td></tr>
<tr><td colspan="2">3 時間モード</td><td>約 3 時間</td><td>約 6 時間</td><td>約 3 時間</td><td>約 5 時間 24 分</td></tr>
<tr><td colspan="2">4 時間モード</td><td>約 4 時間</td><td>約 8 時間</td><td>約 4 時間</td><td>約 7 時間 12 分</td></tr>
<tr><td colspan="2">6 時間モード</td><td>約 6 時間</td><td>約 12 時間</td><td>約 6 時間</td><td>約 10 時間 54 分</td></tr>
</table>

※ 表の内容は理論上の計算値であり、記録時間を保証するものではありません。
※ ソフトウェアの更新などに伴い、表の内容は変更される場合があります。最新の記録時間一覧表については、東芝ブルーレイ / DVD < レグザ > お客様サポートページ（http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/）をご覧ください。
※ テレビの長時間モードで録画した番組をオート（標準）でダビングするときは、より多くの時間を記録することができます。

ダビングにかかる時間の目安

地上デジタル放送の番組（約１時間）をダビングした場合の目安は、以下になります。

ダビングするディスク	時間
ブルーレイディスク	30 ～ 40分程度
DVDディスク	1時間程度

※ ダビングにかかる時間は、録画した番組やディスク、録画モードなどによって異なります。

録画モードについて

ダビングを開始するテレビやダビングするディスクなどに合わせて、録画モードを設定してください。
※ 録画モードによっては、時間が足りないときなど、ダビングに失敗することがあるのでご注意ください。

1 録画モードをくり返し押す

録画モードを押すたびに、以下のように切り換わります。また、録画モードを押して、約4秒で自動的に表示が消えます。

オート(標準) → 3 時間モード → 4 時間モード → 6 時間モード →(オート(標準)に戻る)

	ぴったりダビング対応機種※の場合	ぴったりダビング非対応機種の場合
オート(標準)	**ブルーレイディスクには**	**ブルーレイディスクには**
	ディスクの空き容量が足りるとき： そのままの状態でダビングします。(DR録画モード) **ディスクの空き容量が足りないとき：** 一枚のディスクにぴったり収まるように、自動で画質を変換してダビングします。	そのままの状態でダビングします。(DR録画モード) • ディスクの空き容量を判別できません。 • ディスクの容量を超えると、ダビングが中止されます。
	DVDには	**DVDには**
	ディスクの空き容量が足りるとき： 固定の画質に変換してダビングします。(2時間録画モード) **ディスクの空き容量が足りないとき：** 一枚のディスクにぴったり収まるように、自動で画質を変換してダビングします。	固定の画質に変換してダビングします。(2時間録画モード) • ディスクの空き容量を判別できません。 • ディスクの容量を超えると、ダビングが中止されます。
3 時間モード 4 時間モード 6 時間モード	約3/ 4/ 6時間分の番組やデータを、片面一層ディスク一枚に収まるように、画質を変換してダビングします。 • 長時間になるほど、画質は低くなります。	

※ **対応する東芝テレビ(ZP3/Z3/ZP2/ZG2/Z2/X2/XE2の各シリーズ　2011年11月現在)と、AVCHD方式のビデオカメラ**
ぴったりダビング対応機種の最新情報は、当社ホームページ(http://www.toshiba.co.jp/regza/link/)をご覧ください。

ご注意

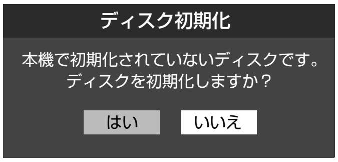
- 「オート(標準)」を選んでいても、番組の容量が多すぎるときなど、ダビングできない場合があります。
- ブルーレイディスクにはハイビジョン画質(録画した番組がSDのときは標準画質のまま)で、DVDには標準画質で記録されます。
- ぴったりダビングに対応する東芝テレビから、ディスクぴったりにダビングしたい場合は、本機の録画モードで「オート(標準)」を選んでおいてください。「オート(標準)」以外を選んだ場合は、選んだモードでダビングされます。

ディスクを初期化(フォーマット)する

ダビングする前に、ディスクを初期化します。

1 ディスクを入れる

未使用のディスクを入れたときなど、以下の画面が表示されます。



- 画面が表示されない場合は、下記「「ディスク初期化」画面が表示されないときは」の手順を行ってください。

2 【はい】を選び、決定を押す

初期化が始まります。
ディスクによって、フォーマット方式は異なります。

BD-R/BD-RE	：BDAV フォーマット
DVD-R/DVD-RW	：VR フォーマット

■「ディスク初期化」画面が表示されないときは

❶ 設定メニューを押す

❷【ディスク/USBメモリー管理】を選び、決定を押す

❸【ディスク初期化】を選び、決定を押す

- 確認画面で【はい】を選び、決定を押すと、ディスクの初期化が始まります。

■ ダビングできるタイトル数

ディスクにダビングできる最大タイトル数は、それぞれ以下の通りです。

BD-R/BD-RE	：200 タイトル
DVD-R/DVD-RW	：99 タイトル

ご注意

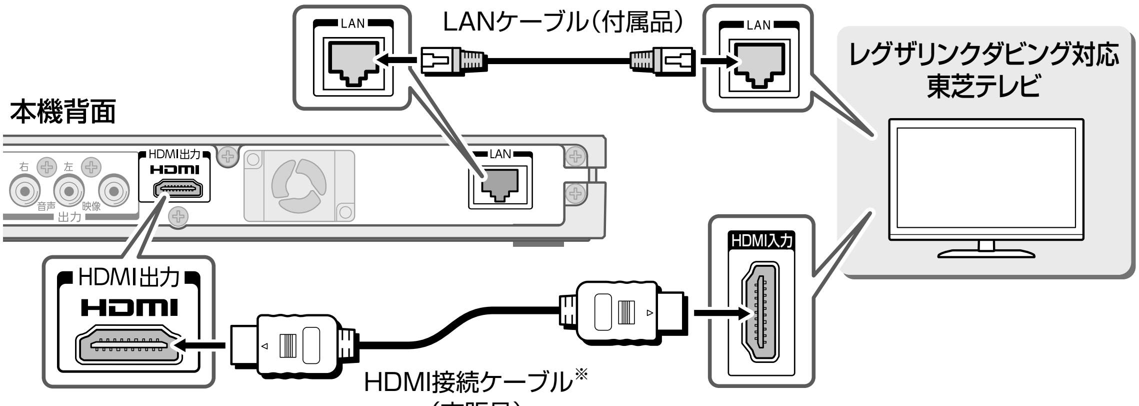
- BD-REまたはDVD-RWで劣化や欠陥が多くなると、ダビングができなくなることがあります。記録済みの内容は削除されますが、ディスクの初期化を実行すると改善されることがあります。
- 記録済みのBD-REやDVD-RWを初期化し直すと、記録内容はすべて消去されます。

テレビ(レグザ)と本機を接続する

対応する東芝テレビで録画した番組をダビングするには、本機とテレビをLANケーブルで接続します。また、HDMIケーブルで接続すると、テレビとの連動操作が可能になります。テレビとの接続や詳しい操作については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

接続する前に、本機および接続する機器の電源が切れていることをご確認ください。

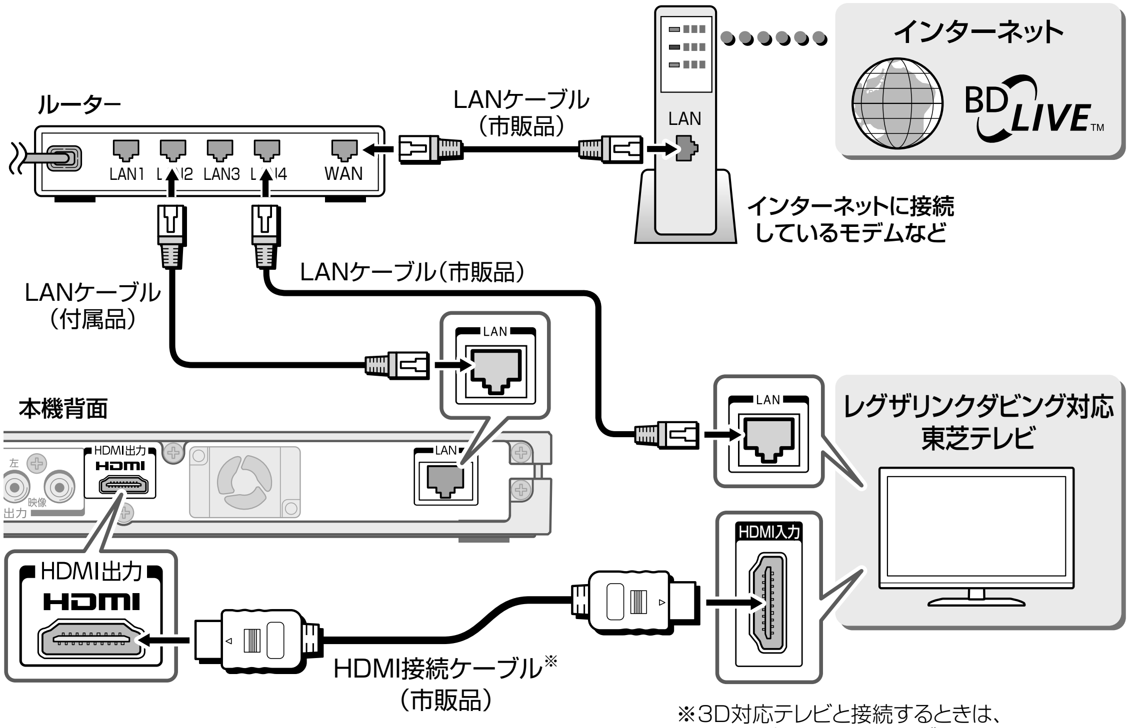
テレビと本機を、LANケーブルで直接接続する



※3D対応テレビと接続するときは、
ハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。

テレビと本機を、ネットワークに接続する

すでにインターネット常時接続環境がある場合は、レグザリンク機能だけでなく、BD-Live[TM]機能を使うこともできます。



※3D対応テレビと接続するときは、
ハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。

テレビ(レグザ)と本機を接続する つづき

レグザリンク・ダビング対応機種
ZP3/Z3/ZP2/ZG2/Z2/X2/XE2/RE2/RS2/RB2/X1/ZG1/ZS1/F1/Z1/Z1S/RE1/RE1S/HE1/H1/H1S/R1/ZX9500/Z9500/ZX9000/Z9000/ZX8000/ZH8000/Z8000/ZH7000/Z7000/ZH500/ZV500 の各シリーズ（2011 年 11 月現在）

※ 最新情報などについては、当社ホームページ（http://www.toshiba.co.jp/regza/link/）をご覧ください。

お知らせ

■ HDMIケーブルでの接続について

- HDMIケーブルは、HDMI ロゴ（HDMI）の表示があるケーブルをお使いください。
- HDMI連動機能とは、HDMI CEC（Consumer Electronics Control ）を使用したHDMIで規格化されているテレビなどを制御するための機能です。CEC規格に準拠した機器と接続したときは、一部の連動動作が行えますが、当社対応品以外については動作を保証するものではありません。
- 1080プログレッシブ出力、ディープカラー出力、3D映像ソフトの再生時などは、ハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。（標準HDMIケーブルでは、正常に動作しないことがあります）
- 本機のHDMI出力端子とテレビやモニターのDVI入力端子とを接続するときは、接続する機器が著作権保護技術であるHDCP 機能に対応していることが必要です。ただし、接続した機器や出力映像によっては、映像表示に制限があったり、表示されないことがあります。また、本機のHDMI出力端子は、VGAは出力しません。
- HDMIは新しい技術です。今後、HDMIのバージョンが変更になった場合、本機で対応できない機能が出てくることがあります。
- 接続するテレビやプロジェクターによっては、音声が出ない場合があります。そのときは、「高品位音声優先出力設定」を【HDMI】－【PCM】40 に設定してください。

■ LANケーブルでの接続について

- 詳しい接続方法については、お使いの通信機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続が完了したら、「通信設定」41 ～ 43 で必要な設定をしてください。
- ルーターは通信速度が10BASE-T または100BASE-TXに対応しているルーターを使用してください。また、ハブを使用した接続は保証しておりません。（ネットワークの使用環境によって、通信速度に差が生じることがあります。本機は通信速度や通信品質を保証するものではありません。）
- インターネットに関するご不明な点などは、ご契約の回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダーなどにお問い合わせください。

テレビ(レグザ)と本機の設定をする

東芝テレビの設定をご購入後に変更していない場合は
本機とテレビをつなぐだけで、レグザリンク機能をお使いいただけます。

※ お買い上げ後に設定を変更した場合は、以下の設定をしてください。

テレビ側の設定をする

テレビの画面とリモコンで操作

「通信設定」をする

❶「通信設定」(または「通信接続設定」、「LAN端子設定」)画面にする

❷以下の項目が設定されていることを確認する

項目	設定内容
IP アドレス設定	自動取得
DNS 設定	自動取得

- 設定されていないときは、項目を変更して保存します。

※ ダビングできないときは、以下の設定をお試しください。

項目	設定内容
IP アドレス設定	自動取得→しない
IP アドレス	192.168.1.20
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNS 設定	自動取得→しない
DNS アドレス(プライマリ)	192.168.1.1

「HDMI連動設定」をする

❶「HDMI連動設定」画面にする

❷以下の項目が設定されていることを確認する

項目	設定内容
HDMI 連動機能	使用する

- 電源を連動させるかどうかなどは、お好みで設定します。

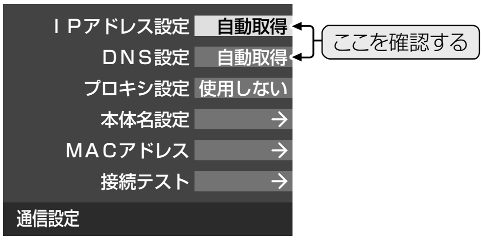
本機側の設定をする

「通信設定」をする

❶ 設定メニュー を押す

❷「通信設定」を選び、決定 を押す

❸「IPアドレス設定」と「DNS設定」が【自動取得】になっていることを確認する



- 【自動取得】になっていないときは、項目を選んで 決定 を押し、自動取得するように設定します。

※ ダビングできないときは、以下の設定をお試しください。

項目	設定内容
IP アドレス設定	自動取得→しない
IP アドレス	192.168.1.15
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNS 設定	自動取得→しない
DNS アドレス(プライマリ)	192.168.1.1

「HDMI連動設定」をする

❶ 設定メニュー を押す

❷「操作・管理設定」を選び、決定 を押す

❸「HDMI連動機能」で【使用する】を選び、決定 を押す

お知らせ

● テレビと本機を設定してからダビングできるようになるまでに、90秒程度の時間がかかることがあります。

テレビ(レグザ)のリモコンで本機を操作する

テレビのリモコンを使って、本機の基本的な操作をすることができます。
以下は操作の一例です。リモコンのボタンや動作、機器操作メニューなどの名称や有無は、機種によって異なります。詳しい操作方法やお知らせなどは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

本機を操作できるテレビのリモコンボタン

テレビのボタン	本機の動作	テレビのボタン	本機の動作
▶/早見早聞	再生を開始 ※ 本機では､｢早見早聞｣機能は働きません。	▲･▼･◀･▶	メニューなどで項目を選択
❚❚	再生中に押すと一時停止 もう一度押すと再生を再開	決定	選択した内容を決定 選択した操作を実行
■	再生を停止	戻る	一つ前の操作に戻る
▶▶❙	一つ先に進んで頭出し再生	終了	操作を終了
❙◀◀	前に戻って頭出し再生	機器操作 録画リスト	機器操作メニューを表示
▶▶	再生中に押すと早送り再生	青	カラーボタンに割り当てられた機能を操作
◀◀	再生中に押すと早戻し再生	赤	
|»| ➡	再生中に押すと少し先に進んで再生	緑	
⮌ |«|	再生中に押すと少し戻って再生	黄	

機器操作メニューなどから操作する

以下の手順で「東芝レコーダーを操作」というメニューを表示させせると、テレビのリモコンで、本機の基本的な操作をすることができます。

対応機種：	ZP3/Z3/ZP2/ZG2/Z2の各シリーズ

テレビの画面とリモコンで操作

❶ [レグザメニュー]を押す

❷ ◀・▶で「入力切換」を選び、▲を押す

❸ 本機を接続した入力(「HDMI 1」など)を選び、[決定]を押す

- 以下のような機器操作メニューが表示され、本機を操作することができます。

対応機種：	X2/XE2/RE2/RS2/RB2/X1/ZG1/ZS1/F1/Z1/Z1S/RE1/RE1S/HE1/H1/H1S/R1/ZX9500/Z9500/ZX9000/Z9000/ZX8000/ZH8000/Z8000/ZH7000/Z7000/ZH500/ZV500の各シリーズ

テレビの画面とリモコンで操作

❶ [レグザリンク]を押す

❷ 「HDMI連動機器を操作する」(または「映像を見る/機器選択」、「東芝レコーダーを操作」など)を選び、[決定]を押す

- 「HDMI連動機器を操作」画面などが表示されたら、手順❸に進みます。
- 「機器選択」画面などが表示されたら、手順❹に進みます。

❸ テレビに接続したHDMI連動機器が、本機だけのとき：「機器を操作する」を選び、[決定]を押す

テレビに接続したHDMI連動機器が、複数あるとき：「機器を選択する」を選び、[決定]を押す

- 手順❹に進みます。

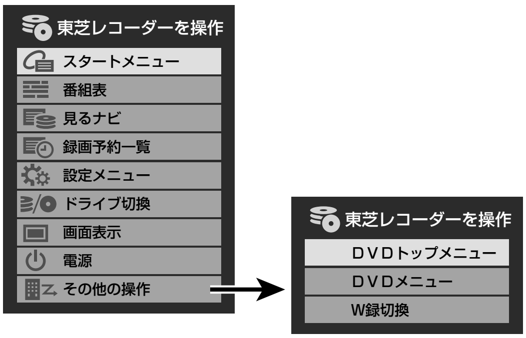
❹ 「機器選択」画面で本機を選び、[決定]を押す

- 以下のような機器操作メニューが表示され、本機を操作することができます。

機器操作メニューについて

以下は一例です。操作メニューの名称や項目の有無は、機種によって異なります。詳しい操作方法やお知らせなどは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

例：機器操作メニュー



見るナビ

● 見るナビ/ディスクのトップメニュー/CDトラックリストを表示する

設定メニュー

● 設定メニューを表示する

画面表示

● 再生状態を表示する

電源

● 電源を切る

テレビ(レグザ)で録画した番組をダビングする

レグザリンク・ダビングのご注意

- 「テレビ→HDMI連動電源オフ」を「連動する」43 に設定しているときは、ダビングの開始直後や複数ダビングの合間にテレビの電源を切ると、ダビングの途中で本機の電源が切れる場合があります。
- ダビング中にテレビの予約録画が始まると、ダビングは中止されます。
- ダビング10タイトルは、ダビングを中止または失敗しても、ダビングできる回数が１回減る場合があります。
- ダビングの画面で表示される残量の%は、あくまで目安です。
- ダビングの残量は、ダビング前の計算とダビング後で異なる場合があります。
- ぴったりダビングに対応する東芝テレビから、ディスクぴったりにダビングしたい場合は、本機の録画モードで「オート（標準）」を選んでおいてください。「オート（標準）」以外を選んだ場合は、選んだモードでダビングされます。

ダビング前の準備について

レグザリンク・ダビングを開始する前に、以下の準備をしておいてください。

≫ 準備

- **ディスクを入れる（ディスクの初期化については、10 をご覧ください）**
- **ダビングしたい番組の時間を調べて、録画モードを設定する 9**

対応機種：	ZP3/Z3/ZP2/ZG2/Z2の各シリーズ　（2011年11月現在）

以下は操作の一例です。リモコンのボタンやダビング開始の動作は、機種によって異なります。詳しい操作方法やお知らせなどは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

テレビの画面とリモコンで操作

1 [レグザメニュー]を押す

2 ▲·▼·◀·▶ と[決定]で、「見る」⇨「録画リスト」の順に進む

3 ダビング元の機器を選び、[決定]を押す

- この手順がない場合もあります。

4 ダビングする番組を選び、[黄]を押す

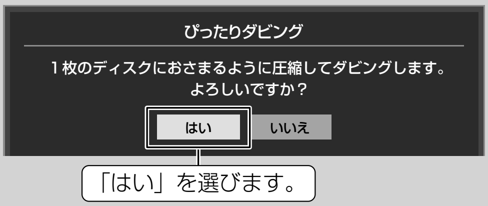
5 「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、[決定]を押す

6 ダビング先に本機を選び、[決定]を押す

- ダビング先に指定できる機器が1台の場合、この手順はありません。



- テレビが「ぴったりダビング」に対応している場合は、以下のメッセージが表示されます。
- 「はい」を選んでください。
- 「いいえ」を選ぶと、ダビングできる時間が短くなります。
- 圧縮してダビングすると、画質が低下します。



7 「複数ダビング」の場合は、以下の操作をする

❶ダビングする番組を選び、[決定]を押す

- [決定]を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わり、✓を付けた番組がダビングされます。

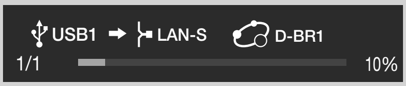
❷ダビングする番組をすべて選んだら、[黄]を押す

- 一度にダビングできるのは16番組までです。

8 「ダビング」画面で「はい」を選び、[決定]を押す



- ダビングが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。



テレビ(レグザ)で録画した番組をダビングする つづき

対応機種：	X2/XE2/RE2/RS2/RB2/X1/ZG1/ZS1/F1/Z1/Z1S/RE1/RE1S/HE1/H1/H1S/R1/ZX9500/Z9500/ZX9000/Z9000の各シリーズ　（2011年11月現在）

以下は操作の一例です。リモコンのボタンやダビング開始の動作は、機種によって異なります。詳しい操作方法やお知らせなどは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

テレビの画面とリモコンで操作

1 [レグザリンク]を押す

2 「録画番組を見る」を選び、[決定]を押す

3 ダビング元の機器を選び、[決定]を押す

- この手順がない場合もあります。

4 ダビングする番組を選び、[黄]を押す

- X1のみ、[黄]の代わりに[クイック]を押し、「ダビング」を選んで[決定]を押します。

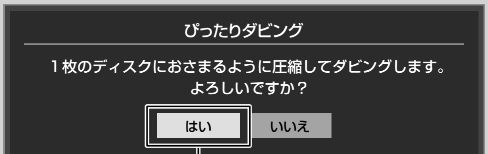
5 「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、[決定]を押す

6 ダビング先に本機を選び、[決定]を押す

- ダビング先に指定できる機器が1台の場合、この手順はありません。



- テレビが「ぴったりダビング」に対応している場合は、以下のメッセージが表示されます。
- 「はい」を選んでください。
- 「いいえ」を選ぶと、ダビングできる時間が短くなります。
- 圧縮してダビングすると、画質が低下します。



「はい」を選びます。

7 「複数ダビング」の場合は、以下の操作をする

❶ **ダビングする番組を選び、[決定]を押す**

- [決定]を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わり、✓を付けた番組がダビングされます。

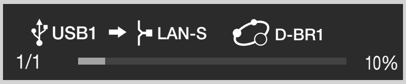
❷ **ダビングする番組をすべて選んだら、[黄]を押す**

- 一度にダビングできるのは16番組までです。

8 「ダビング」画面で「はい」を選び、[決定]を押す



- ダビングが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。



対応機種：	ZX8000/ZH8000/Z8000/ZH7000/Z7000/ZH500/ZV500の各シリーズ（2011年11月現在）

以下は操作の一例です。リモコンのボタンやダビング開始の動作は、機種によって異なります。詳しい操作方法やお知らせなどは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

テレビの画面とリモコンで操作

1 レグザリンク を押す

2 「映像を見る/機器選択」を選び、決定 を押す

3 ダビング元の機器を選び、決定 を押す

- この手順がない場合もあります。

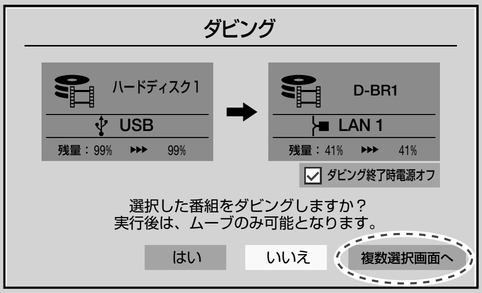
4 ダビングする番組を選び、緑 を押す

5 ダビング先に本機を選び、決定 を押す

- ダビング先に指定できる機器が1台の場合、この手順はありません。



6 手順4で選んだ番組以外もダビングする場合は、以下の操作をする



❶「複数選択画面へ」を選び、決定 を押す

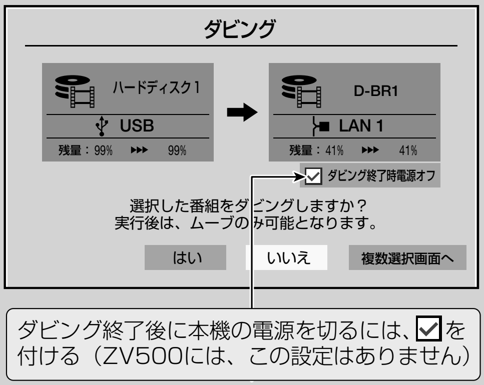
❷ダビングする番組を選び、決定 を押す

- 決定 を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わり、✔を付けた番組がダビングされます。

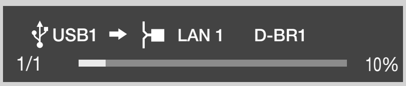
❸ダビングする番組をすべて選んだら、緑 を押す

- 一度にダビングできるのは16番組までです。

7 「ダビング」画面で「はい」を選び、決定 を押す



- ダビングが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。

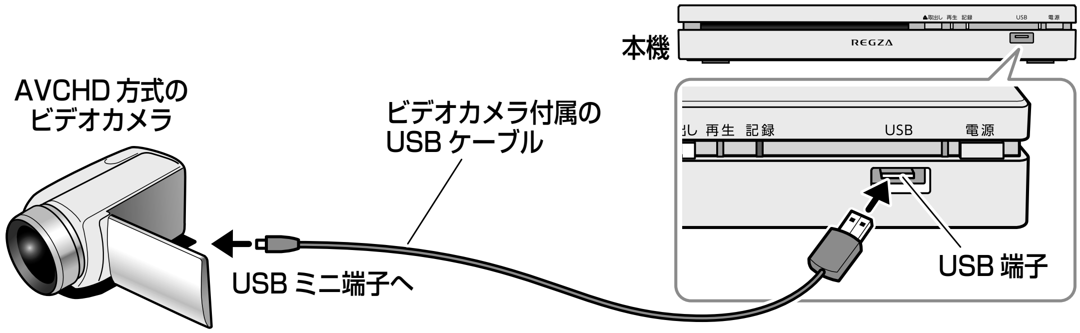


ビデオカメラの映像をダビングする

AVCHD 方式のビデオカメラを USB ケーブルで接続すると、ビデオカメラに記録したデジタルハイビジョン動画をディスクにダビングできます。
対応するビデオカメラについては、当社ホームページ(http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/)をご覧ください。

ビデオカメラと接続する

本機とビデオカメラの電源を切ってから接続してください。また、ビデオカメラを接続するときは、AC アダプターをご使用ください。
ビデオカメラの詳しい操作方法やお知らせなどは、ビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。



お知らせ
● デジタルビデオカメラとの接続が正しく認識できないときは、ケーブルを接続しなおしてみてください。また、接続するデジタルビデオカメラによっては、正しく動作しない場合や、一部の機能が使えないことがあります。

ビデオカメラと本機の接続を解除する

ダビングが終了したことを確認してから、接続を解除してください。

ご注意
● ダビング中に電源を切ったり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。本機の動作がおかしくなったり、ダビングした映像が破損する場合があります。

ビデオカメラの映像をディスクにダビングする

ブルーレイディスクとDVDにダビングすることができます。ただし、DVDにダビングするときは、標準画質になります。

≫ 準備

- **本機とビデオカメラの電源を入れる（ビデオカメラの設定が必要なときは、設定をしておく）**

1 ダビングしたいディスクを入れる

- ディスクの初期化については、 10 をご覧ください。

2 ダビングしたい映像に合わせて、録画モードを選ぶ 9

3 停止中に （クイック） を押す

4 【AVCHDダビング】を選び、決定を押す

5 デバイス選択画面が表示されたら、デバイスを選び、決定を押す



- 複数のデバイスがあるときなどに、この画面が表示されます。
- 同時に認識できるデバイスは、最大4個までです。

6 ダビングしたい映像を選び、決定を押す



決定を押すたびに、☑と□が交互に切り換わり、✔を付けた映像がダビングされます。

- 撮影日で映像を選択する場合は、（黄）を押し、撮影日を選んで決定を押します。
- （青）を押すたびに、全ての映像を選択したり、解除したりできます。

7 ダビングしたい映像を選び終わったら、（赤）を押す

確認画面で【はい】を選び、決定を押すと、ダビングが始まります。

- ダビングが始まると、画面の右下に進行状況が表示されます。



ご注意

● 「AVCHDダビング」画面を表示しているときに、ビデオカメラ側でメディアの抜き差しをしないでください。

お知らせ

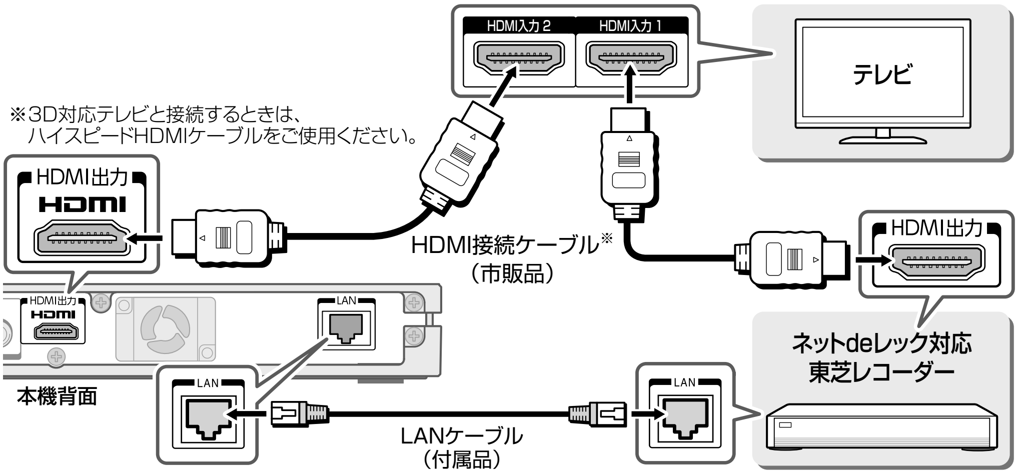
● ビデオカメラによっては、ビデオカメラ側で表示される映像の数と、「AVCHDダビング」画面で表示される映像の数が一致しないことがあります。
● ディスクにダビングすると、映像の頭や終わりの部分が欠けることがあります。
● 映像の種類（一部の3D映像など）によっては、ダビングできない場合があります。
● 本機はSDXCカードからの取り込みには対応していません。
● 本機はAVCHD Ver. 2.0には対応していません。

レコーダーと本機を接続する

ネットdeレックに対応する東芝レコーダーと本機を接続すると、レコーダーのタイトルをブルーレイディスクにダビングできます。レコーダーとの接続や詳しい操作については、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

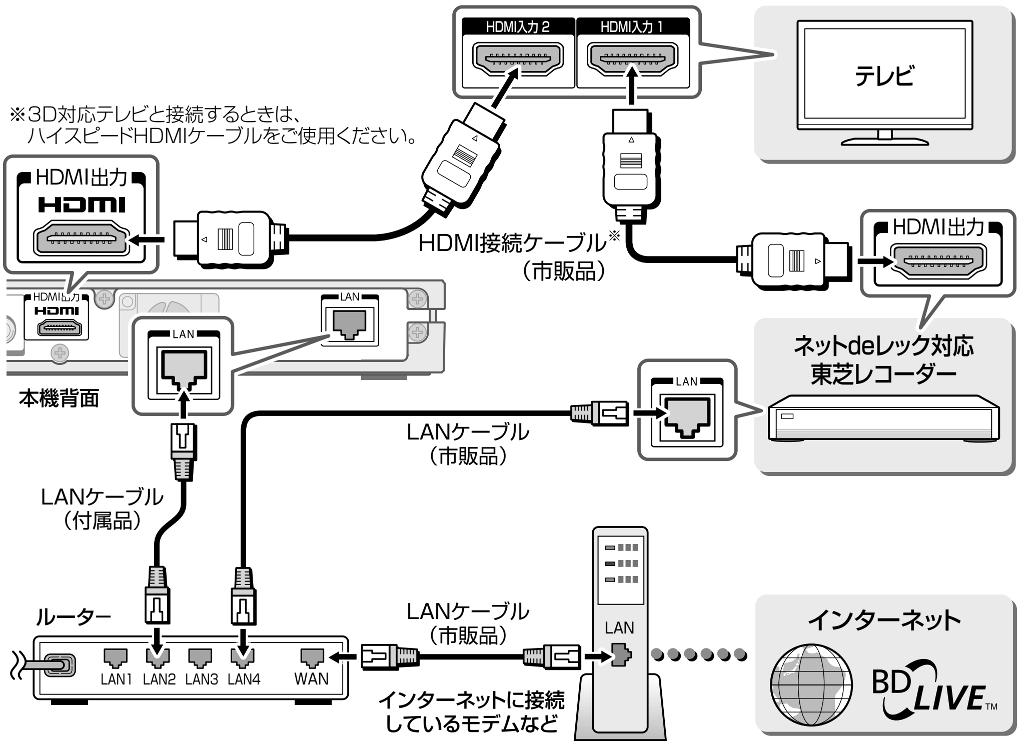
接続する前に、本機および接続する機器の電源が切れていることをご確認ください。

レコーダーと本機を、LANケーブルで直接接続する



レコーダーと本機を、ネットワークに接続する

すでにインターネット常時接続環境がある場合は、BD-Live™機能を使うこともできます。



ネット de レック対応機種
RD-Z300/RD-X9/RD-S1004K/RD-S304K（2011 年 11 月現在）

最新情報などについては、当社ホームページ(http://www.toshiba.co.jp/regza/link/)をご覧ください。

お知らせ

■ HDMIケーブルでの接続について

● HDMIケーブルは、HDMI ロゴ(HDMI)の表示があるケーブルをお使いください。
● HDMI連動機能とは、HDMI CEC（Consumer Electronics Control)を使用したHDMIで規格化されているテレビなどを制御するための機能です。CEC規格に準拠した機器と接続したときは、一部の連動動作が行えますが、当社対応品以外については動作を保証するものではありません。
● 1080プログレッシブ出力、ディープカラー出力、3D映像ソフトの再生時などは、ハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。(標準HDMIケーブルでは、正常に動作しないことがあります)
● 本機のHDMI出力端子とテレビやモニターのDVI入力端子とを接続するときは、接続する機器が著作権保護技術であるHDCP 機能に対応していることが必要です。ただし、接続した機器や出力映像によっては、映像表示に制限があったり、表示されないことがあります。また、本機のHDMI出力端子は、VGAは出力しません。
● HDMIは新しい技術です。今後、HDMIのバージョンが変更になった場合、本機で対応できない機能が出てくることがあります。
● 接続するテレビやプロジェクターによっては、音声が出ない場合があります。そのときは、「高品位音声優先出力設定」を【HDMI】－【PCM】40 に設定してください。

■ LANケーブルでの接続について

● 詳しい接続方法については、お使いの通信機器の取扱説明書をご覧ください。
● 接続が完了したら、「通信設定」41 ～ 43 で必要な設定をしてください。
● ルーターは通信速度が10BASE-T または100BASE-TXに対応しているルーターを使用してください。また、ハブを使用した接続は保証しておりません。(ネットワークの使用環境によって、通信速度に差が生じることがあります。本機は通信速度や通信品質を保証するものではありません。)
● インターネットに関するご不明な点などは、ご契約の回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダーなどにお問い合わせください。

レコーダーと本機の設定をする

レコーダー側の設定をする

レコーダーの画面とリモコンで操作

❶「設定メニュー」から、「イーサネット利用設定」-「利用する」を選ぶ

❷「ネットdeナビ/ダビング/レック/サーバー」タブを選び、以下を設定して保存する

項目	設定内容
ネット de レック / サーバー設定	使う（フィルタ制限なし）

❸「アドレス/プロキシ」タブを選び、以下を設定して保存する

項目	設定内容
DHCP	自動取得

※ ダビングできないときは、以下の設定をお試しください。

項目	設定内容
DHCP	使わない
IP アドレス	192.168.1.20
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNS サーバー	192.168.1.1

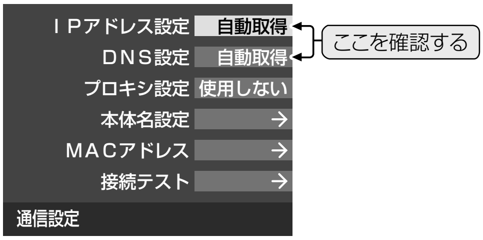
本機側の設定をする

お買い上げ後に設定を変更した場合は、以下の設定をしてください。

❶ 設定メニュー を押す

❷「通信設定」を選び、決定 を押す

❸「IPアドレス設定」と「DNS設定」が【自動取得】になっていることを確認する



- 【自動取得】になっていないときは、項目を選んで 決定 を押し、自動取得するように設定します。

※ ダビングできないときは、以下の設定をお試しください。

項目	設定内容
IP アドレス設定	自動取得→しない
IP アドレス	192.168.1.15
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNS 設定	自動取得→しない
DNS アドレス（プライマリ）	192.168.1.1

レコーダーで録画したタイトルをダビングする

以下は操作の一例です。ダビング開始の動作や画面などは、機種によって異なります。詳しい操作方法やお知らせなどは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

※ レコーダーからダビングできるのは、TS/DR/AVCタイトルのみです。(VR/TSE/SKPなどのタイトルは、ダビングできません。)

≫ 準備

- ディスクを入れる(ディスクの初期化については、10☞ をご覧ください)
- ダビングしたいタイトルの時間を調べて、録画モードを設定する 9☞

レコーダーの画面とリモコンで操作

1 ドライブ切換 を押し、「HDD」を選ぶ

2 編集ナビ を押す

3 ダビングしたいパーツを選び、決定 を押す

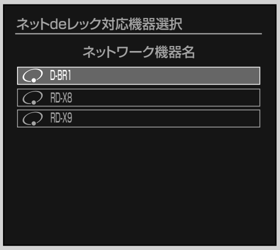
4 【ダビング】を選び、決定 を押す

5 ダビング先に【LAN】を選び、決定 を押す

選んだパーツによって、表示される画面は異なります。



6 ダビング先に本機を選び、決定 を押す



- 二つ以上のパーツをダビングしたいときは、ダビング画面で、パーツを選んで登録することをくり返します。

7 【コピー開始】または【移動開始】を選び、決定 を押す

ダビング終了後の電源について、確認画面が表示されます。【はい】または【いいえ】を選び、決定 を押します。

■ ダビングしたあとのタイトルについて

ダビングするディスクや録画モードによって、ダビングしたあとのタイトルは、以下のように変わります。

		ブルーレイディスクにダビング	DVDにダビング
録画モード	オート(標準)	TS／DR ➡ DR AVC ➡ AVC そのままの画質でダビングされます。	TS／DR／AVC ➡ VR 標準画質(SD)に落としてダビングされます。
	3時間モード	TS／DR／AVC ➡ AVC 画質を落としてダビングされます。	
	4時間モード		
	6時間モード		

※「オート(標準)」を選んでいて、タイトルがディスクにおさまらない場合は、途中でダビングが中止されます。
※ 3/4/6時間モードを選んでいるときは、長時間になるほど、低い画質でダビングされます。
※ レコーダー側で半角カタカナを使って入力したタイトル名などは、正しくダビングされない場合があります。

市販のディスクを再生する

映画などを収録した市販のブルーレイディスクやDVDを再生します。
操作説明は一般的な例です。使用するディスクによって、操作方法やメニューの内容は異なります。ディスクの取扱説明書や画面の指示に従って操作してください。

ディスクを再生する

BD-Video　DVD-Video　Videoフォーマット

1 **ディスクを入れる**

自動的に再生が始まります。

- 自動的に再生が始まらない場合は、▶を押してください。
- メニュー画面が表示された場合は、項目を選び、決定を押す

2 **停止する場合は、■を押す**

再生を終了します。

トップメニューを表示する

BD-Video　DVD-Video　Videoフォーマット

ディスクには、全体の構成を確かめたり、見たい場面を選んだりできるように、メニュー画面が記録されているものがあります。また、メニュー画面から字幕や音声を切り換える場合もあります。

1 **再生中に トップメニュー を押す**

画面の指示に従って操作します。

メニューを表示する

DVD-Video　Videoフォーマット

トップメニューの他にも、ディスクにメニューが記録されている場合があります。

1 **再生中に ポップアップ/メニュー を押す**

画面の指示に従って操作します。

ポップアップメニューを表示する

BD-Video

BD-Videoディスクには、再生を止めずにいろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」が記録されているものがあります。

1 **再生中に ポップアップ/メニュー を押す**

（例）



画面の指示に従って操作します。

お知らせ

- 海外テレビ番組のディスクなどで、吹き替えの音源がない部分がオリジナル音源（外国語）になり、日本語と交互に切り換わる場合があります。
- BD-Videoディスクによっては、再生中に自動で一時停止する場合があります。❚❚を押すと、一時停止を解除できます。
- ディスクによってはトップメニューを「タイトル」としていることがあります。

ダビングしたディスクを再生する

本機や他のレコーダーなどで記録した、BD-R/RE や DVD-R/RW などを再生します。

見るナビから再生する

BD-R | BD-RE | VRフォーマット | BDAVフォーマット

1 ディスクを入れる

見るナビが表示されます。

- 見るナビが表示されないときは、[見るナビ]を押します。

（例）



2 ▲·▼で再生したいタイトルを選び、[決定]を押す

再生が始まります。

- タイトルの頭から再生したいときは、[青]を押します。

3 停止する場合は、[■]を押す

再生を終了します。

■ 見るナビを表示する／非表示にする

❶ [見るナビ]を押す

- ボタンを押すたびに、見るナビの表示と非表示が切り換わります。

■ 見るナビを並べ替える

見るナビの順番を、お好みで並べ替えることができます。

❶ [クイック]を押す

❷【並び替え】を選び、[決定]を押す

❸【新しい番組順】または【古い番組順】を選び、[決定]を押す

■ タイトルを保護する

ダビングしたタイトルを誤って削除しないように、保護することができます。

❶ [クイック]を押す

❷【保護】を選び、[決定]を押す

保護されたタイトルに「🔒」がつきます。

- 保護を解除するときは、手順❷で【保護解除】を選びます。

■ タイトルを削除する

削除したタイトルは元に戻すことはできません。ご注意ください。

❶タイトルを選び、[赤]を押す

❷確認画面で【はい】を選び、[決定]を押す

- BD-RやDVD-Rでは、タイトルを削除しても、ディスクの空き容量は増えません。

お知らせ

- 見るナビに表示される全タイトル数は、BD-R/BD-REの場合は1 ～ 200タイトル、DVD-R/RWの場合は1 ～ 99タイトルです。
- テレビとの接続で、映像入力（黄）端子を使っているときは、見るナビの端の文字やマークの一部が表示されません。HDMI端子を使って、テレビと接続することをおすすめします。

Videoフォーマットの DVD-R/RWを再生する

Video フォーマットで記録されている DVD も、ファイナライズされたディスクであれば再生できます。

1 ディスクを入れる

自動的に再生が始まります。

- 自動的に再生が始まらない場合は、[▶]を押してください。

2 停止する場合は、[■]を押す

再生を終了します。

お知らせ

- 「トップメニュー」「メニュー」が記録されているディスクは、市販のDVD-Videoディスクと同様の操作ができます。26

再生中に使えるボタンや機能

再生中に使えるボタン



ボタン	動作の説明
再生	再生を開始
一時停止	再生中に押すと一時停止 もう一度押すと再生を再開
停止	再生を停止 • 続き再生ができるディスクは、もう一度押すと、続き再生が解除されます。
早送り 早戻し	早送り／早戻し再生 • ／を押すたびに、速さが変わります。 • 早送り／早戻しの速さは、再生するディスクによって異なります。 • を押すと、普通の再生に戻ります。
ワンタッチスキップ	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生
ワンタッチリプレイ	再生中に押すと、10秒ほど戻って再生
スキップ	チャプター／トラックを移動 ：一つ先のチャプター／トラックに進んで頭出し再生 ：現在のチャプター／トラックの先頭から再生 続けて2回押すと、一つ前のチャプター／トラックに戻って頭出し再生します。
スロー	スローモーション再生 • スロー を押すたびに、速さが変わります。 ※ この機能は、CDでは働きません。
コマ送り	一時停止中に、コマ送り を押すたびに、1コマずつ再生 • を押すと、普通の再生に戻ります。 ※ この機能は、CDでは働きません。

お知らせ

● 再生するディスクやタイトルによっては、操作が異なる場合や、禁止されている場合があります。

音声を切り換える

BD-Video DVD-Video BD-RE BD-R VRフォーマット Videoフォーマット BDAVフォーマット

1 音声多重放送など、複数の音声が記録されているタイトルを再生中に、[音声]を押す

（例）

1 PCM　主＋副

押すたびに音声が切り換わります。

二ヶ国語（二重音声）放送が記録されているタイトル	「主」、「副」、または「主＋副」表示となります。
「ステレオ放送」「モノラル放送」が記録されているタイトル	「ステレオ」表示となります。（音声の切り換えはできません）
BD-Videoディスク／ DVD-Videoディスク	現在再生されている音声番号などの情報が表示されます。

- [音声]で切り換えられないときは、テレビ側の音声切り換えをお試しください。

映像やアングルを切り換える

BD-Video DVD-Video

1 複数の映像やアングルのあるタイトルを再生中に、[アングル]を押す

（例）

映像 1

押すたびに映像が切り換わります。

- 複数のアングルが記録されているシーンで画面に（アングルマーク）を表示させるように設定することができます。39

字幕を切り換える

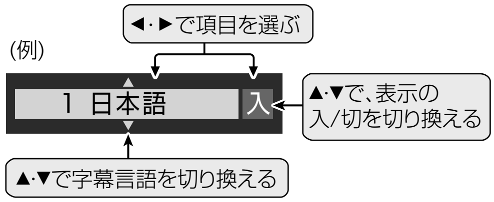
BD-Video DVD-Video BD-RE BD-R VRフォーマット BDAVフォーマット

1 字幕が記録されているタイトルを再生中に、[字幕]を押す

現在の字幕設定を表示します

2 ◀·▶で項目を選び、▲·▼で字幕言語や、表示の入/切を切り換える

（例）



- [字幕]をくり返し押して、字幕を切り換えることもできます。

ビットレートを表示する

BD-Video DVD-Video BD-RE BD-R VRフォーマット Videoフォーマット BDAVフォーマット

再生するタイトルやディスクによっては、実際の画質のビットレートと異なる場合があります。

1 再生中に[クイック]を押す

2 【ビットレート表示】を選び、[決定]を押す

画面右側に、ビットレートが表示されます。

- ビットレート表示を消すには、手順**2**で【ビットレート非表示】を選びます。

ディスクを再生する

お知らせ

- 「－－－」と表示されるときは、そのディスクに選択できるアングルや字幕が記録されていません。
- 音声、字幕、アングルの切り換えは、タイトルや内容によっては、ディスクのメニュー26を使って選びます。
- 音声、字幕、アングルの切り換えは、すぐに切り換わらないことがあります。
- 音声、字幕、アングルの表示は、一定時間経過すると消えます。
- ダビングしたディスクでは、映像を切り換えられない場合があります。

再生中に使えるボタンや機能 つづき

くり返し再生する(リピート再生)

選んだタイトルやチャプターなどをくり返し再生できます。

1 再生中に［ディスクメニュー］を押す

2 ▲･▼で「リピート再生」を選び、［決定］を押す

3 ▲･▼で「入」を選び、［決定］を押す

4 ◀･▶で項目を選び、［決定］を押す

タイトルリピート
再生中のタイトルをくり返し再生します。
チャプターリピート
再生中のチャプターをくり返し再生します。
A-Bリピート
指定した範囲(A点～B点)だけをくり返し再生します。 ❶くり返したい範囲の最初のところで、［決定］を押す ボタンを押したところがA点として記憶されます。 ❷くり返したい範囲の終わりのところで、［決定］を押す ボタンを押したところがB点として記憶され、A点とB点の間の、くり返し再生が始まります。

- リピート再生を終了させるには、手順**3**で「切」を選びます。

お知らせ
- ディスクや内容によってはリピート再生が禁止されているものがあります。

見たい場面を探す

タイトル番号や経過時間などから、見たい場面を探すことができます。

1 再生中に［ディスクメニュー］を押す

2 ▲･▼で項目を選び、［決定］を押す

タイトル選択
タイトルの頭出しができます。
チャプター選択
チャプターの頭出しができます。
再生時間
経過時間を指定できます。

3 数字ボタン、または▲･▼で数字を入力する

4 ［決定］を押す

指定したところから再生が始まります。

お知らせ
- ディスクの種類や、記録されている状態によって、表示される画面が異なります。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を指定することはできません。
- ディスクや場面によっては、経過時間を使って場面を探すことができないことがあります。

最後に止めた位置から再生する(続き再生)

BD-Video　DVD-Video　BD-RE　BD-R　VRフォーマット　Videoフォーマット　BDAVフォーマット

［■］を押して再生を中断しても、その続きから再生できる機能です。

［▶］を押す：続きから再生されます。

［■］を押す：続き再生が解除されます。

お知らせ
- 続き再生は、ディスクや再生内容によっては機能が働かないことがあります。また、電源コードを抜く、ディスクを取り出すなどすると、解除されます。

再生中にディスクメニューを表示する

再生しながら、タイトル情報の確認、頭出しやリピート再生ができます。
ディスクや記録されている内容によって、表示や選択できる項目は異なります。

1 再生中に ディスクメニュー を押す

現在視聴しているタイトルなどの情報が表示されます。

（例）



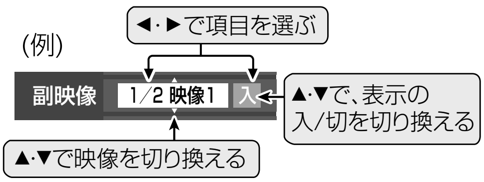
- もう一度 ディスクメニュー を押すと、表示が消えます。

2 ▲･▼で設定項目を選び、決定 を押す

3 ▲･▼で項目を選び、決定 を押す

- 字幕／副映像／副音声の場合は、表示や音声出力の「入」／「切」も切り換えることができます。

（例）



4 ディスクメニュー を押して、表示を消す

お知らせ

- 設定メニューの「ブルーレイビデオ副音声/効果音」40 を【切】に設定しているときは、「副音声」の表示設定で「入」を選んでも、音声は出力されません。
- 「---」と表示されるときは、そのディスクに選択できるアングルや字幕などが記録されていません。

タイトルや経過時間など、再生状態を確認する

1 再生中に 画面表示 を押す

（例）



- もう一度押すと、表示が消えます。

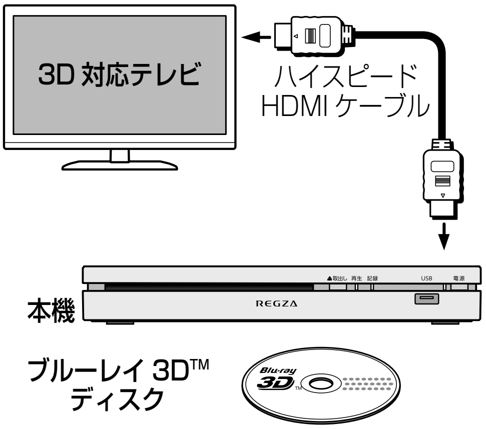
ディスクを再生する

市販のブルーレイディスクを楽しむ

ブルーレイ3D™ディスクを再生する

ブルーレイ3D™ディスクを視聴する前に、必ず「安全上のご注意」65 を、お読みください。

このロゴのついたディスクを再生できます。



- 本機と3D対応のテレビを、ハイスピードHDMIケーブルで接続します。
- テレビの取扱説明書をお読みの上、テレビ側の設定を行ってください。
- 本機側の設定については、「3D設定」41 をご覧ください。

通常のブルーレイディスクと同様の操作で再生できます。画面にメッセージなどが表示されたときは、指示に従って操作してください。

お知らせ

- 本機はブルーレイ3D™ディスクの再生に対応していますが、その他の方式を含めてすべての3D映像ディスクの再生を保証するものではありません。
- 接続しているテレビによっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D映像に切り換わることがあります。テレビ側の3D設定をご確認ください。
- レコーダーなどで、サイドバイサイド(2画面構成)などの放送を記録したディスクを再生する場合、テレビ側の3D設定に従って再生されます。テレビ側の3D設定をご確認ください。また、再生状態やプログラム再生などの画面表示は正しく表示されません。

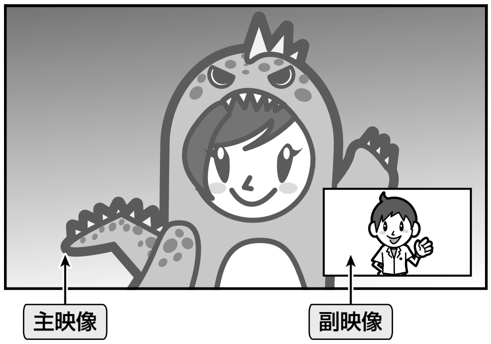
BONUSVIEW™対応のブルーレイディスクを楽しむ

2 画面に対応した副映像、副音声や、字幕が同時に楽しめます。本編再生中の画面に小画面（PinP）で表示されます。

1 ディスクを入れる

2 ディスクの取扱説明書に従い、操作をする

（例）



- ディスクによっては、副映像／音声が自動的に再生されます。また、再生可能な領域が制限されることがあります。
- 再生方法はディスクによって異なります。詳しい使い方については、ディスクの説明書をご覧ください。

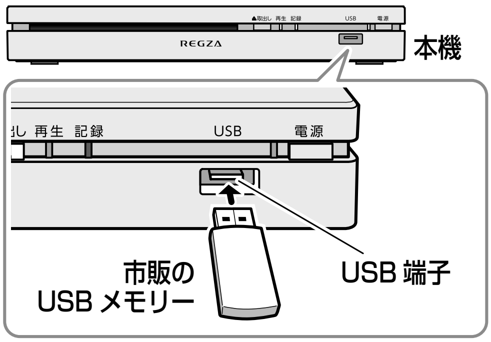
BD-Live™対応のディスクを楽しむ

BD-Live™ 対応ディスクでは、インターネットに接続することで、特典映像や字幕などの追加コンテンツや、ネットワーク対戦ゲームなど、さまざまな機能を楽しめます。
BD-Live™ は、インターネット接続と設定が必要です。

接続：「テレビと本機を、ネットワークに接続する」11
設定：「通信設定」41 ～ 43

1 十分な空き容量（1GB以上推奨）がある市販のUSBメモリーを、本機に挿入する

- 規格に準拠した、USB2.0のメモリーをご使用ください。



2 ディスクを入れる

3 ディスクの取扱説明書に従い、操作する

■ ダウンロードしたデータを削除する

BD-Live™ でダウンロードされた情報などは、本機に挿入した市販の USB メモリーに保存されます。USB メモリーの容量が足りないときは、「BD-LIVE データ消去」44 で、不要なデータを削除してください。

お知らせ

- BD-Live™機能には専用のソフトを使用します。インターネットを使って本機をバージョンアップすると、専用のソフトを最新のものに更新できます。バージョンアップについては、「サーバからのダウンロード開始」43 をご覧ください。
- BD-Live™で映像などの情報を保存している間は、再生の操作が制限されることがあります。また、ダウンロード中に電源プラグを抜く、停電するなどした場合、保存中のBD-Live™データは失われます。そのときはデータをダウンロードし直してください。
- BD-Live™対応のディスクが、本機やディスクの識別信号（ID）をインターネット経由でコンテンツプロバイダに送信することがあります。
- 規格に準拠したUSBメモリーでも、製品によっては本機で認識されないものがあります。すべてを補償するものではありません。

音楽用CDを再生する

市販の音楽用CDやCD-DAフォーマットのCD-R/RWを再生します。ディスクによっては、働かない機能があります。

1 CDを入れる

トラックリストが表示され、再生が始まります。



2 トラックを選び、決定を押す

選んだトラックの再生が始まります。

- トラック数が多いときは複数ページに渡って表示されます。◀·▶でページを移動します。
- ■を押すと再生が停止します。

■ 再生中に使えるボタンについて

早送りやトラック送りなど、再生中に使えるボタンについては、28をご覧ください。

■ 視聴メニューについて

再生しながら、頭出しやリピート再生などを設定できます。

❶再生中に 黄 を押す

❷ ▲·▼で設定項目を選び、決定を押す

トラック選択	再生中のトラック番号が表示されます。番号を選択して、トラックの頭出しができます。	
再生時間	トラックの再生経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。	
音声	現在選ばれている音声の種類が表示されます。お好みの音声を選択できます。	
リピート再生	「入」を選んで決定を押すと、右記のリピート再生モードを選択できます。 リピート再生を終了させるには、■を押す、または「切」を選んでください。	**ディスクリピート**：ディスクをくり返し再生 **トラックリピート**：トラックをくり返し再生 **A-Bリピート**：指定した範囲(A点～B点)をくり返し再生(A点～B点の範囲設定の方法は30をご覧ください。)

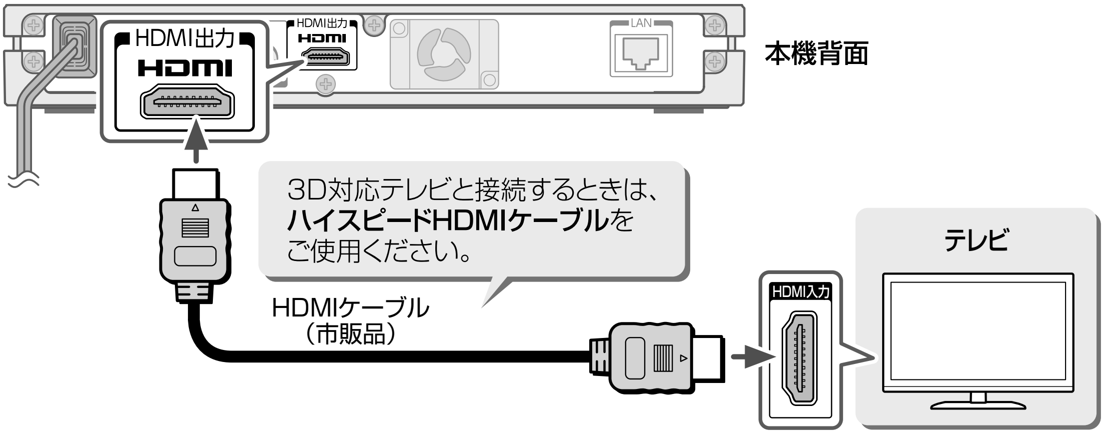
❸ 戻る でトラックリストに戻る

東芝テレビ(レグザ)以外のテレビと接続する

接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源が切れていることをご確認ください。
また、接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

HDMI端子付きテレビと接続する

ハイビジョン映像をそのままの画質でお楽しみいただくには、HDMIケーブルで接続することをおすすめします。
HDMIケーブルについてのお知らせは、12 をお読みください。



映像入力(黄)端子付きテレビと接続する

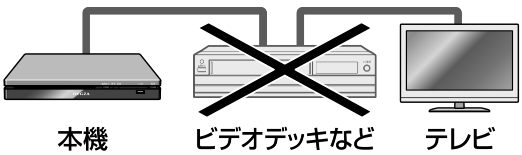
テレビにHDMI端子がないときは、映像・音声接続コードで接続します。

※ HDMIケーブルを同時に接続しているときは、映像コードで接続した機器の映像は表示されません。

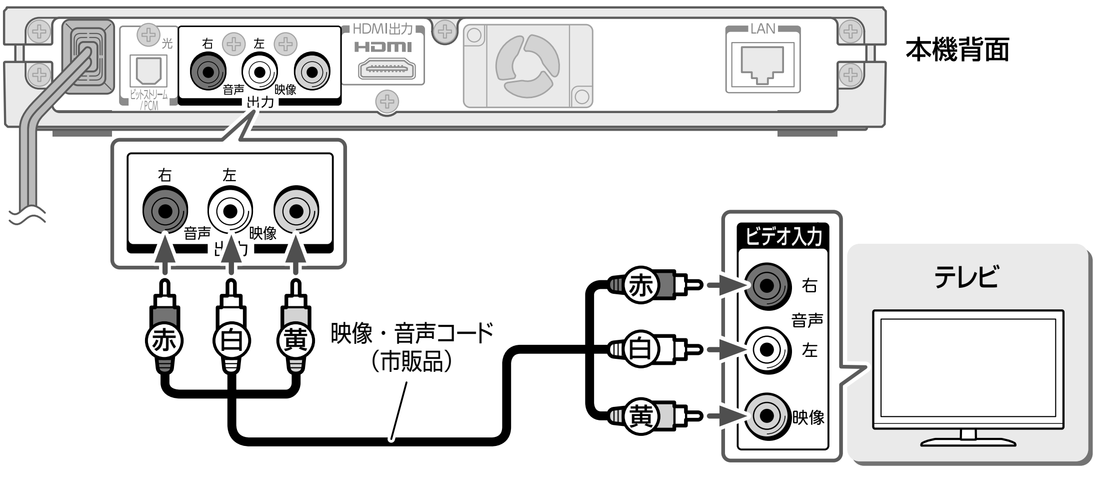
※ 本機とテレビを映像・音声接続コードでつないだ場合は、画質は標準(SD)となります。また、テレビが3Dに対応していても、3D映像は見られません。

※ 映像入力(黄)端子を使って視聴する場合は、見るナビを表示したときなどに、端の文字やマークの一部が表示されません。

映像・音声接続コードでつなぐ場合は、本機とテレビを直接つないでください。



本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止機能によって正常な映像にならないことがあります。

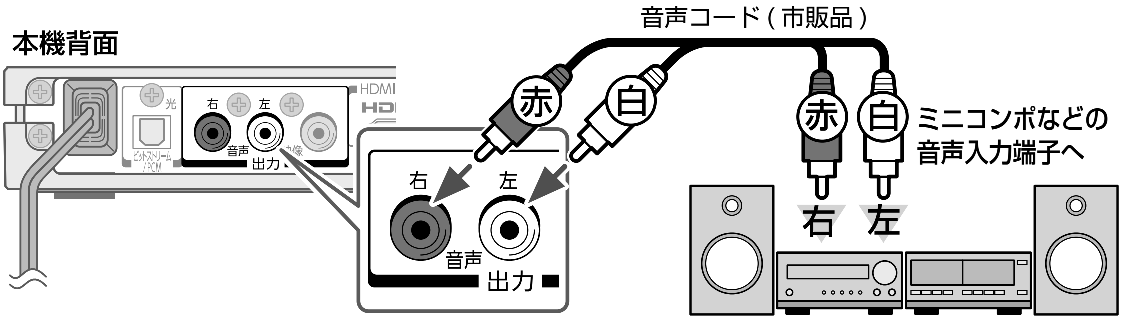


オーディオ機器と接続する

接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源が切れていることをご確認ください。
また、接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

アナログ音声入力端子付きオーディオ機器と接続する

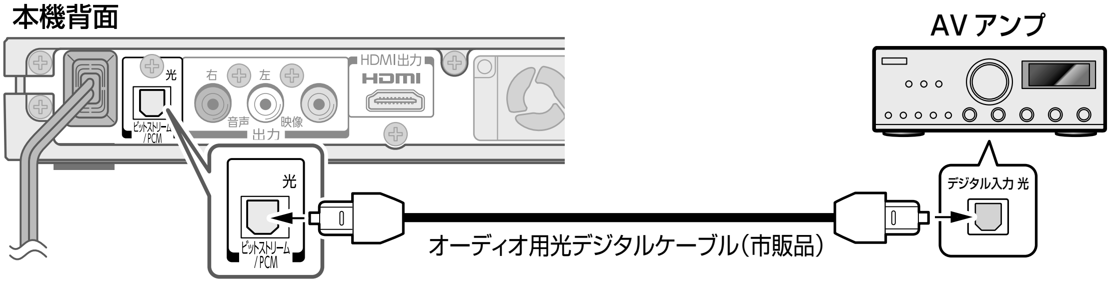
音声ケーブルを使って、本機とお使いのオーディオ機器を接続します。



デジタル音声入力端子付きAVアンプと接続する

光デジタルケーブルを使って、本機とお使いのアンプを接続します。

● 接続後は、**【高品位音声優先出力設定】**－**【デジタル音声　光】** 40 を設定してください。

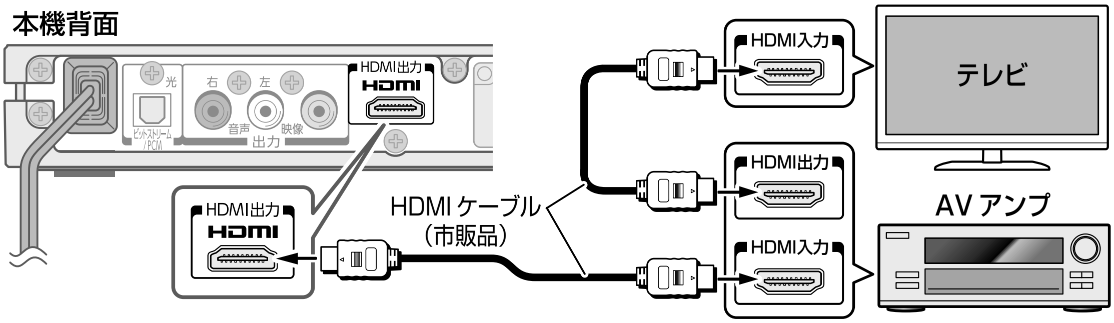


HDMI入力端子付きAVアンプと接続する

HDMIケーブルを使って、本機とお使いのアンプを接続します。

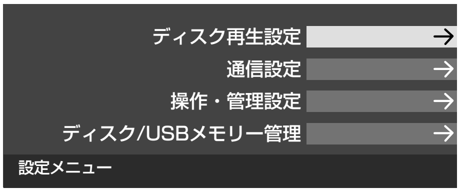
● 接続後は、**【高品位音声優先出力設定】**－**【HDMI】** 40 を設定してください。

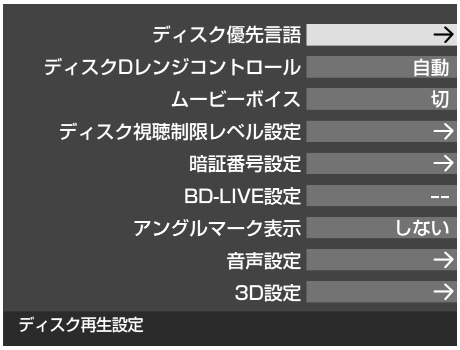
● テレビとAVアンプが3Dに対応している場合は、ハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。テレビが3Dに対応していても、AVアンプが3Dに対応していない場合は、以下の接続で3D映像を視聴できません。



機能の設定と変更

本機の設定を、お使いの条件やお好みに合わせて変えられます。
以下が基本の手順です。各画面下部に表示される操作ガイドも参照してください。





1 設定メニュー を押す

2 ▲·▼で設定したい項目のグループを選び、決定 を押す

- 目的の項目になるまで、この手順をくり返します。

3 以降の説明を参照して、▲·▼·◀·▶などで設定し、決定 を押す

同じグループの他の項目を設定するときは、手順**2**、**3**をくり返します。

- 他のグループに移るには、戻る を押してから、手順**2**、**3**を行います。

※ 一部、戻る が効かないメニューがあります。その場合は 終了 を押して画面を閉じ、再度手順**1**から行ってください。

4 終了 を押す

画面が消え、設定は完了です。

	設定メニュー	設定項目
ディスク再生設定	**ディスク優先言語** 市販のBD-VideoディスクやDVD-Videoディスクを再生するときの、優先言語（画面に表示するメニューや音声の言語）を選択できます。	**1** **▲·▼で設定する項目（字幕言語／音声言語／メニュー言語）を選ぶ** **2** **◀·▶で言語を選び、決定 を押す** ・「メニュー言語」を選ぶときに、言語コード（例：「AA」など）から設定したい場合は、「言語コード一覧」54 で、希望する言語コードをご確認ください。 お知らせ ・該当する言語のディスクメニューがない場合は、ディスクで指定された言語で表示されます。
	ディスク D レンジコントロール 夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能です。	**切**　：Dレンジコントロール機能が働きません。 **入**　：Dレンジコントロール機能が働きます。 **自動**：Dレンジコントロール機能のオン / オフを、自動で切り換えます。 お知らせ ・ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビー True HDで記録された市販のディスクのときだけ、この機能が働きます。 ・「自動」は、ドルビー True HDのときのみ有効です。ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラスを再生すると、常にDレンジコントロールが働きます。 ・この機能の効果のレベルはディスクによって異なります。

機能の設定と変更 つづき

ディスク再生設定（つづき）

設定メニュー	設定項目

ムービーボイス

市販のBD-VideoディスクやDVD-Videoディスクの音量を全体的に上げて、セリフなどを聞きやすくする機能です。

切　：ムービーボイス機能が働きません。
入　：ムービーボイス機能が働きます。

お知らせ

- ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラスで記録された市販のディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果のレベルはディスクによって異なります。

ディスク視聴制限レベル設定

視聴制限に対応したBD-VideoディスクやDVD-Videoディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。ディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し替えたりなどして再生されます。

お願い

- ディスクによっては、視聴制限に対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。設定内容が働くことを必ず確認してください。

お買い上げ時には、視聴制限は設定されていません。設定するには、「暗証番号設定」が必要です。39

1 番号ボタンで４けたの暗証番号を入力する

- 番号を入れ間違えたときは、◀ を押して入力し直します。

2 ◀･▶で設定したい項目を選び、▲･▼で地域コードや制限レベルを選ぶ



● DVD 地域コード

▲･▼を押すたびに切り換わります。

● DVD 視聴制限レベル

レベル	内容
1	子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向けディスク（R指定を含む）は再生できません。
2～3	一般向けディスク（R 指定を除く）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R）指定ディスクは再生できません。
4～7	一般向けディスク（R 指定を含む）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクは再生できません。
8	すべてのディスクを制限無しで再生できます。
切	視聴制限を「切」にします。

※ 選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、レベルを上げるか【切】にしないかぎり、再生できなくなります。たとえばレベル７を設定すると、レベル８以上はロックされ再生できなくなります。

●ブルーレイディスク視聴制限レベル

項目	内容
4歳～ 19歳 20歳（制限しない）	4 ～ 19歳の間で年齢制限をします。 20歳は、年齢制限をしません。

ディスク再生設定（つづき）

設定メニュー	設定項目
暗証番号設定 「ディスク視聴制限レベル設定」や、「BD-LIVE 設定」などに使う暗証番号を設定します。 ※ 必要でない場合は、登録しないことをおすすめします。また、設定した暗証番号を忘れないようにご注意ください。	**●初めて設定するとき** **1 暗証番号を 0 ～ 9 で入力する** • 番号を入れまちがえたときは、◀ を押して入力し直します。 **2 確認のため、もう一度暗証番号を入力する** **●設定した番号を変更するとき** **1 暗証番号を 0 ～ 9 で入力する** • 番号を入れまちがえたときは、◀ を押して入力し直します。 **2 新しい暗証番号を入力する** **3 確認のため、もう一度暗証番号を入力する**
BD-LIVE 設定 BD-Live™ 機能に対応するディスクを再生するときに、インターネット接続を許可するかどうかを設定します。	**1 「暗証番号設定」（上記）で設定した暗証番号を入力します** • 番号を入れまちがえたときは、◀ を押して入力し直します。 **2 ▲･▼で項目を選び、決定を押す** **許可**　：BD-Live™ コンテンツからの、すべてのインターネットアクセスを許可します。 **条件付き許可**：証明書を持つ、BD-Live™ コンテンツからのインターネットアクセスのみ許可します。 **禁止**　：BD-Live™ コンテンツからの、すべてのインターネットアクセスを禁止します。
アングルマーク表示 複数のアングルが記録されているシーンで、画面に（アングルマーク）を表示させるように設定することができます。	**する**　：アングルマークを表示させます。 **しない**：アングルマークを表示させません。

その他

機能の設定と変更 つづき

ディスク再生設定（つづき）

設定メニュー	設定項目
音声設定	
高品位音声優先出力設定 本機と接続している機器に合わせて、どの音声方式で出力するかを設定します。	**HDMI** **自動** ： ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS、DTS-HD、AAC、リニアPCMのデコーダーを内蔵したHDMI機器を本機に接続しているときに選びます。 コンテンツを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します※。 接続したHDMI機器がビットストリームに対応していないときは、音声をリニアPCMに変換して出力します。 ※「ブルーレイビデオ副音声 / 効果音」が【入】のときは、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDはドルビーデジタル、DTS-HDはDTSのビットストリーム音声になります。 **PCM** ： マルチチャンネル対応のHDMI機器や、2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているときに選びます。 ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS、DTS-HD、AACのコンテンツを再生すると、音声をPCMに変換して出力します。 **デジタル音声　光** **ビットストリーム** ： ドルビーデジタル、DTS、AACのデコーダーを内蔵したアンプを本機に接続しているときは、ドルビーデジタル、DTS、AACのコンテンツを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDを再生するとドルビーデジタル、DTS-HDを再生するとDTSのビットストリーム音声を、それぞれ出力します。 **PCM2ch** ： 2chデジタルステレオアンプを、本機に接続しているときに選びます。 再生した音声を、PCM（2ch）に変換して出力します。 お知らせ • 二つ以上の機器に接続しているときは、設定した音声端子以外からは正しく出力されないことがあります。その場合は、接続した機器の音量を下げるなど調節してください。 • 光デジタルケーブルを使ってアンプと接続しているときは、機器によっては、お好みの音声が出力されないことがあります。その場合は、【HDMI】-【PCM】または、【デジタル音声　光】-【PCM2ch】に設定してください。
ダウンミックス設定 マルチサラウンド音声を再生するときに、ダウンミックスの方法を切り換えることができます。	**ステレオ** ： バーチャルサラウンド（ドルビープロロジックなど）に対応していない機器（テレビなど）を接続しているときに選びます。 **サラウンド** ： バーチャルサラウンド（ドルビープロロジックなど）に対応している機器を接続しているときに選びます。
ブルーレイビデオ副音声 / 効果音 BD-Videoディスクの副映像などを再生するときに、音声を出力するかどうかを設定します。	**入** ： 副音声や効果音などの音声を出力します。 **切** ： 副音声や効果音などの音声を出力しません。

その他

	設定メニュー	設定項目
ディスク再生設定(つづき)	**3D 設定**	
	ブルーレイ 3D 対応 ブルーレイ 3D™ ディスクを 3D 映像と 2D 映像の、どちらで再生するかを設定します。	**3D 出力** ： 3D 映像で出力します。 **2D 出力** ： 3D 映像を、従来の 2D 映像で出力します。 • ディスクによっては、2D 映像で出力できないものがあります。
	3D 画面表示位置 3D 映像を再生しているときの、画面表示の位置などを設定します。	**1 ◀･▶で、奥行きなどの位置を調整する** • 映像表示の奥行きも変わることがあります。
通信設定	**IP アドレス設定** インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。	**1 ◀･▶で、IP アドレスを自動で取得するかしないかを選ぶ** •「しない」を選んだときは、以下の手順を行います。 **2 ▲･▼で、IP アドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイの入力欄を選ぶ**  **3 リモコンの 0 ～ 9 で数字を入力する** **4 入力が終わったら、決定を押す** お知らせ •「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS設定」の「DNSアドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定してください。
	DNS 設定 インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。	**1 ◀･▶で、DNS アドレスを自動で取得するかしないかを選ぶ** •「しない」を選んだときは、以下の手順を行います。 **2 ▲･▼で、DNS アドレス（プライマリ／セカンダリ）の入力欄を選ぶ**  **3 リモコンの 0 ～ 9 で数字を入力する** **4 入力が終わったら、決定を押す**

その他

機能の設定と変更 つづき

通信設定（つづき）

設定メニュー	設定項目

プロキシ設定

インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。

ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定してください。

ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。

1 ▲·▼でプロキシサーバーを使用するかしないかを選び、決定を押す

- 「使用する」を選んだときは、以下の手順を行います。

2 ▲·▼で【サーバ名】または【ポート番号】を選び、決定を押す

3 以下を参考に、それぞれ設定する

● サーバ名を入力する

① 画面表示 を押し、◀·▶で入力モードを切り換え、決定を押す



② 0 〜 9 で文字を入力し、決定を押す

リモコン	入力モード 「abAB」 英字を入力します※	「1234」 数字を入力します	「半角記号」 記号を入力します
1	1→2→3→4→5→6→7→8→9→0	1	▲・▼・◀・▶で入力したい記号を選び、決定を押す。
2	a→b→c→A→B→C	2	
3	d→e→f→D→E→F	3	
4	g→h→i→G→H→I	4	
5	j→k→l→J→K→L	5	
6	m→n→o→M→N→O	6	
7	p→q→r→s→P→Q→R→S	7	
8	t→u→v→T→U→V	8	
9	w→x→y→z→W→X→Y→Z	9	
0	大文字と小文字を切り換える	0	
クイック	文字を削除する。		

※ 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、最初の文字を入力したあと、▶を押してから次の文字を入力します。

● ポート番号を入力する

① 0 〜 9 で数字を入力する

4 【設定完了】を選び、決定を押す

本体名設定

接続しているテレビやレコーダー側で表示される本機の名称を設定します。

1 決定を押す

2 0 〜 9 で文字を入力し、決定を押す

- 文字入力の方法は、上記「プロキシ設定」の手順3をご参照ください。

MACアドレス

本機のMACアドレスを確認できます。

	設定メニュー	設定項目
通信設定(つづき)	**接続テスト**	インターネットに正しく接続できるかどうかを確認するテストです。テレビと直接接続しているときはテストできません。 • 問題があるときは、メッセージが表示されます。メッセージに従って、設定内容を確認し、修正してください。
操作・管理設定	**時刻設定** 現在日時を設定します。	**1** ◀·▶で【西暦】【月】【日】【時】【分】【秒】を選び、▲·▼で値を設定する **2** 設定が終わったら、決定を押す
	テレビ→ HDMI 連動電源オフ HDMI ケーブルを使って対応する東芝テレビと接続したとき、テレビの電源と連動して、本機の電源を切るかどうかを設定します。	**連動する** ： テレビの電源オフに合わせて、本機の電源を切ります。 **連動しない** ： テレビの電源オフに合わせて、本機の電源を切りません。 ご注意 •「連動する」に設定しているときは、ダビングの開始直後や複数ダビングの合間にテレビの電源を切ると、ダビングの途中で本機の電源が切れる場合があります。
	HDMI 連動機能 HDMI ケーブルを使って対応する東芝テレビと接続したとき、連動機能(レグザリンク機能)を使用するかどうかを設定します。	**使用する** ： 本機の電源を入れたときに、接続したテレビ(レグザリンク対応品)の電源が自動的に入り、テレビの入力が切り換わります。 **使用しない** ： 連動機能が働きません。 お知らせ • 接続機器や接続状態によっては、機能が働かないことがあります。 • 新たにHDMI連動対応機器をテレビに接続したときに、機能が働かないことがあります。すべての機器の電源を入れ直すと、正常に機能する場合があります。
	TV 画面形状 接続しているテレビの画面形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。	**4:3 LB** ： 従来の4:3テレビをお使いのとき。画面比16:9の映像は、横長のまま表示し、上下に黒い帯をつけて再生されます。 **4:3 ノーマル** ： 従来の 4:3 テレビをお使いのとき。画面比 16:9 の映像は、4:3 の画面形状に合わせるため左右をカットし、テレビ画面全体に表示して再生されます。 **16:9 ワイド** ： 16:9ワイドテレビをお使いのとき。画面比4:3の映像は、16:9 の画面いっぱいに横伸びして再生されます。 **16:9 シュリンク** ： 16:9ワイドテレビをお使いのとき。画面比4:3の映像は、16:9 の画面形状に合わせるため左右に黒帯がつきますが、伸びは生じません。
	1080p 出力設定 1080p 解像度出力のコマ数(フレームレート)を設定します。1080/24p の表示に対応しているモニターと接続することで、毎秒 24 コマの映像コンテンツを 24 コマのまま出力することができます。	**自動** ： BD-Video ディスクなどを再生するときに、自動で 60 コマと 24 コマを切り換えて出力します。 **60** ： 常に 60 コマで出力します。 お知らせ •「自動」に設定すると、HDMIで1080p出力しているときのみ、24コマで出力します。 • ディスクや状態によっては、24コマ出力されない場合があります。 • 通常の再生時より、再生開始が遅れるなど、動作が異なる場合があります。
	サーバからのダウンロード開始	イーサネット通信(LAN 端子の接続)によって、東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードします。ダウンロード完了後は、本機のソフトウェアの更新も自動的に行われます。
	ソフトウェアバージョン	現在のソフトウェアのバージョンが表示されます。
	設定を出荷時に戻す	設定した暗証番号を忘れたときなど、各種設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

機能の設定と変更 つづき

	設定メニュー	設定項目
ディスク／USBメモリー管理	**ディスク初期化**	挿入したブルーレイディスクまたは DVD を、本機で使えるように初期化します。 10
	BD-LIVE データ消去 USB メモリーに記録されている、BD-Live™ 機能を使用したときのデータを消去します。	**1 ◀･▶で【はい】を選び、決定を押す** ご注意 • 消去したデータは元に戻せません。消去する前にご確認ください。
	USB メモリー初期化 接続した USB のメモリーを初期化します。	**1 ◀･▶で【はい】を選び、決定を押す** **2 メッセージを確認し、◀･▶で【はい】を選び、決定を押す** ご注意 • 初期化を実行すると、記録されていたデータはすべて削除されます。初期化する前にご確認ください。

ディスクについて

再生できるディスク

<table>
<tr><th>ディスクの種類</th><th>再生できる内容</th></tr>
<tr><td>BD-Video</td><td>市販のソフトなど
本機のリージョン（地域）コードは**「A」**です。
「A」や「A」を含むリージョンマークが表示されたBD-Videoディスクの再生ができます。
リージョンマーク例</td></tr>
<tr><td>BD-RE
(Ver. 2.1 ／ 3.0)</td><td rowspan="2">片面1層（SL）／片面2層（DL）
BDAVフォーマットの録画番組
BDMVフォーマットの録画番組</td></tr>
<tr><td>BD-R
(Ver. 1.1 ／ 1.2 ／ 1.3 ／ 2.0)</td></tr>
<tr><td>DVD-Video</td><td>市販のソフトなど
本機のリージョン（地域）番号は**「2」**です。
「2」や「ALL」などを含むリージョンマークが表示された DVD-Video ディスクの再生ができます。
リージョンマーク例</td></tr>
<tr><td>DVD-RAM※1</td><td rowspan="2">片面1層（SL）／片面2層（DL）※2 ／両面1層※3
VRフォーマットの録画番組
Videoフォーマットの録画番組
BDAVフォーマット（AVCREC™規格）の録画番組</td></tr>
<tr><td>DVD-R/DVD-RW※1</td></tr>
<tr><td>市販の音楽用CD/
CD-R/CD-RW</td><td>CD-DA（音楽用 CD）フォーマット</td></tr>
</table>

※1　Ver1.0 は除く
※2　DVD-R のみ
※3　DVD-RAM のみ

- ファイナライズ（クローズ）していない BD-R、または BDAV フォーマットの DVD は再生できないことがあります。また、ファイナライズしていない Video フォーマットの DVD は再生できません。
- DVD-RAM は、カートリッジなし、およびディスクを取り出せるタイプ（TYPE2/4）のみ対応しています。
- 本機では 8cm ディスクは再生できません。また、8cm ディスク用のアダプターは、ご使用にならないでください。
- 本機と異なるリージョンコードや番号のディスクは再生できません。
- 本機では、NTSC（日本のテレビ方式）以外の方式で録画されたディスクは再生できません。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクや、シールやラベルがはがれたりしているディスク、フックタイプなどのディスク保護用アクセサリーを取り付けたディスクは使用しないでください。ディスクはドライブ内で高速回転するので、飛び散ってけがや故障の原因となります。
- 特殊形状（ハートや星、名刺タイプなど）のディスクは挿入しないでください。取り出せないなど、故障の原因となります。

上記以外のディスクは再生できません。上記のディスクでも、記録状態によっては読み取れなかったり、正常に再生できない場合があります。

ディスクについて つづき

ダビングできるディスク

ディスクの種類	対応するフォーマット	くり返し初期化	対応ディスクや特長
BD-RE/ BD-RE DL	**BDAV** フォーマット	○	Ver2.1 高速記録 2 倍速ディスクまで
BD-R/ BD-R DL	**BDAV** フォーマット	×	Ver1.1、1.2、1.3 高速記録 6 倍速ディスクまで
DVD-RW (CPRM※対応)	**VR** フォーマット	○	Ver1.1、1.2 高速記録 6 倍速ディスクまで
DVD-R/ DVD-R DL (CPRM※対応)	**VR** フォーマット	×	Ver2.0、2.1 高速記録 16 倍速ディスクまで Ver3.0 高速記録 8 倍速ディスクまで

※「CPRM」は、番組制作者などの著作権を守るための著作権保護技術です。

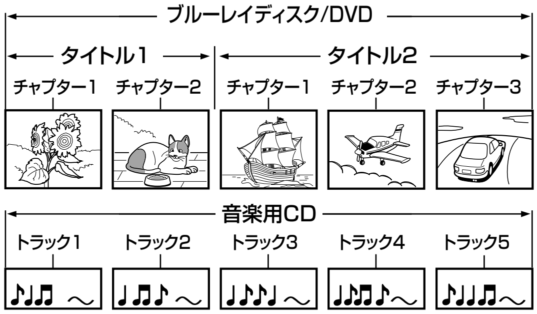
万一、何らかの不具合が発生した場合でも、録画／編集ができなかった内容の補償、録画／編集されたデータの損失、およびこれらに関わるその他の直接･間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。本機でダビングしたディスクを当社以外の製品で使用した場合や、当社以外の機器で録画したディスクを本機で使用した場合の不具合も含みます。

- ディスクや接続する機器によって、ダビングにかかる時間は異なります。
- ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。ディスクをお使いになる前に、ディスクに添付されている取扱説明書をよくお読みください。
- 本機は 8cm ディスクには対応していません。また、8cm ディスク用のアダプターは、ご使用にならないでください。
- 録画用のディスクをご使用ください。
- ディスクに表示された最大記録速度と、本機でのダビング速度とは異なる場合があります。また、ダビング速度（倍速）はすべてのディスクに対して保証するものではありません。

ディスクの内容区分について

- 一般に、ブルーレイディスクやDVDに収録された内容は、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
- 音楽用CDの場合は、「トラック」で区切られています。

例）



ダビングしたディスクを保護する／ファイナライズする

ディスク情報を見る

ディスクの種類や残量、ダビングできるかどうかなどを確認できます。

1 ディスクを入れる

見るナビが表示されます。
- 見るナビが表示されないときは、見るナビを押します。

2 緑 を押す

（例）

ディスク情報		
ディスク名：戦国NABE		
ディスク種別：BD-R	記録フォーマット：BDAV	推定残量：90%
ディスク保護：なし	ファイナライズ：未	追記：可

- 戻る を押すと、見るナビ画面に戻ります。

ディスクを保護する（ソフトプロテクト）

BD-RE　BD-R　DVD-RW　DVD-R

ダビングしたディスクを誤って初期化したり、タイトルを削除したりしないように保護します。

1 ディスクを入れる

見るナビが表示されます。
- 見るナビが表示されないときは、見るナビを押します。

2 クイック を押す

3 【ソフトプロテクト設定】を選び、決定を押す

ディスクがソフトプロテクトされます。
- ソフトプロテクトを解除するときは、手順**1** ～ **3**を行い、手順**3**で【**ソフトプロテクト解除**】を選びます。

お知らせ
- ソフトプロテクトしたディスクにはダビングできません。

他のプレーヤーなどで再生できるようにする（ファイナライズ）

BD-R　DVD-RW　DVD-R

ダビングしたディスクをファイナライズすると、対応する他のプレーヤーなどでも再生できるようになります。

1 ディスクを入れる

見るナビが表示されます。
- 見るナビが表示されないときは、見るナビを押します。

2 黄 を押す

3 確認画面で【はい】を選び、決定を押す

ファイナライズが始まります。
- ファイナライズを解除するときは、手順**1** ～ **3**を行います。

お知らせ
- BD-RとDVD-Rは、ファイナライズを解除できません。
- ファイナライズしたディスクにはダビングできません。

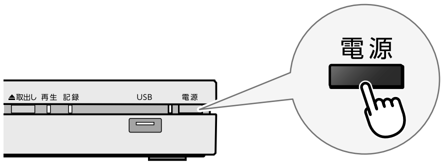
困ったときは？

- 本機が正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

操作できなくなったとき－本機をリセットする

- リモコンでも本体の操作ボタンでも操作できなくなった場合は、以下の操作をしてみてください。

5秒以上押し続ける



① 本体の［電源］を5秒以上押し続けてください。強制終了となり、電源が切れます。

② 電源を入れ直し、正常に動作するかどうかご確認ください。

※ **この操作をしても電源が切れない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。**71

確認すること	解決法・その他	ページ
電源が入らない		
電源プラグが抜けていませんか。	• 電源プラグをコンセントに差し込みます。	7
「電源」表示が消えていませんか。	• 本体の［電源］またはリモコンの（電源）を押して、電源を入れます。	7
リモコンで操作ができない		
リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がありませんか。	• 障害物を取り除きます。リモコン受光部の位置は、右記のページでご確認ください。	6
リモコンの乾電池が消耗していませんか。	• 新しい乾電池に交換してください。	6
リモコンの乾電池の向き（＋、－）は合っていますか。	• 向き（＋、－）を確認し、正しく入れてください。	6
本体のボタンでは操作ができますか。	• 上記の対処をした上で、なおもリモコンの操作だけができない場合は、リモコンの故障が考えられます。	－
3D対応テレビと接続して、3Dグラス（メガネ）をご使用になっていませんか。	• 本機のリモコンと液晶シャッター方式の3Dグラスは、どちらも赤外線信号を使用します。本機のリモコン受光部とテレビの3Dグラス用赤外線発信部が近いと、誤動作を起こすことがあるので、なるべく離して設置してください。	－
本体前面のランプが点滅している		
「電源」表示が点滅していませんか。	• 本体の起動中です。点滅が点灯に変わるまでお待ちください。	－
「記録」表示が点滅していませんか。	• バージョンアップが失敗したり、本機が操作できない状態です。上記の「操作できなくなったとき－本機をリセットする」の手順をお試しください。	－
「電源」表示と「再生」表示が、同時に点滅していませんか。	• 本機のバージョンアップ中です。終了するまでお待ちください。	－
本体内部から音がする		
本機にディスクが挿入されていますか。	• 本機を操作したときに駆動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。	－

確認すること	解決法・その他	ページ
ディスクが取り出せない		
−	• 本体の〔電源〕を5秒以上押し続けます。電源が切れたことを確認してから、〔取出し〕を押してください。ディスクが強制的に排出されます。	−
映像が映らない・音声が出ない		
テレビとの接続は正しいですか。	• 接続を確認してください。 • (HDMI接続の場合)信号が正しく認識されていない可能性があります。本機とテレビの電源を入れ直してください。	11 35
テレビの電源は入っていますか。	• テレビの電源を入れてください。	−
テレビの入力を、本機が接続している端子の入力に切り換えましたか。	• テレビの入力を正しく切り換えてください。	−
(HDMI接続の場合)接続しているテレビやAVアンプは、HDCPに対応していますか。	• HDCPに対応していない機器と接続した場合、映像は正常に出力されません。	−
テレビの音量は適切ですか。 消音になっていませんか。	• テレビの音量を調節してください。	−
(AVアンプなどのオーディオ機器と接続している場合)音声出力は正しく設定されていますか。	• 接続した機器にあわせて、「高品位音声優先出力設定」を設定してください。 ※接続している機器側の設定や取扱説明書も、確認してください。	40
映像が映らない・音声が出ない		
テレビとの接続は正しいですか。	• 接続を確認してください。 • (HDMI接続の場合)信号が正しく認識されていない可能性があります。本機とテレビの電源を入れ直してください。	11 35
ディスクが再生できない		
本機で対応しているディスクですか。	• 非対応のディスクは、再生できません。 • 非対応のフォーマットで記録されたディスクは、再生できません。 • リージョン(地域)コードや番号の異なるディスクは、再生できません。	45
ファイナライズされたディスクですか。	• レコーダーなどで記録したディスクは、ファイナライズされていないと再生できない場合があります。記録した機器でファイナライズ処理を行ってください。	−
ディスクを正しく入れましたか。	• ディスクの印刷面を上にして、挿入口に入れてください。	7
ディスクが汚れていたり、キズがありませんか。	• 汚れていたりキズがついたディスクは、正常に再生できない場合があります。	−
「Cinavia・・・」というエラーが表示されていませんか。	Cinavia™の通告 この製品は Cinavia™技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生が中断されます。 Cinavia™技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.comの Cinavia™オンラインお客様情報センターで提供されています。	−

困ったときは？ つづき

確認すること	解決法・その他	ページ
字幕・音声・アングルが切り換えられない		
切り換え可能な字幕・音声・アングルが、ディスクに記録されていますか。	• 複数の字幕・音声・アングルが記録されていないディスクでは、切り換えることができません。 ※ディスクのパッケージや取扱説明書を確認してください。	－
－	• ディスクによっては、特定の場面で切り換えを禁止しているものがあります。	－
3Dディスクの映像が、正しく再生できない		
テレビは3D対応ですか。	• 3Dに対応していないテレビと接続した場合、正常な3D映像は再生できません。	－
3D対応テレビとの接続は正しいですか。	• 正常な3D映像を再生するには、本機と3D対応テレビを、ハイスピードHDMIケーブルで接続する必要があります。	32
ビデオカメラが認識されない		
－	• ビデオカメラの電源を入れ直す、または接続し直してください。	20
ダビングできない		
東芝テレビ（レグザ）と接続していますか。	• テレビと本機の設定を、以下のように設定してください。	13

テレビ

「通信設定」（または「通信接続設定」、「LAN端子設定」）画面で、以下の項目を設定する

項目	設定内容
IP アドレス設定	自動取得→しない
IP アドレス	192.168.1.20
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNS 設定	自動取得→しない
DNS アドレス（プライマリ）	192.168.1.1

本機

「通信設定」画面で、以下の項目を設定する

項目	設定内容
IP アドレス設定	自動取得→しない
IP アドレス	192.168.1.15
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNS 設定	自動取得→しない
DNS アドレス（プライマリ）	192.168.1.1

<table>
<tr><th>確認すること</th><th>解決法・その他</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td colspan="3">ダビングできない</td></tr>
<tr><td>東芝レコーダーと接続していますか。</td><td>• レコーダーと本機の設定を、以下のように設定してください。

レコーダー
「設定メニュー」から、「イーサネット利用設定」>「ネットdeナビ/ダビング/レック/サーバー」タブを選び、以下を設定する
<table>
<tr><th>項目</th><th>設定内容</th></tr>
<tr><td>ネット de レック / サーバー設定</td><td>使う（フィルタ制限なし）</td></tr>
</table>
「アドレス/プロキシ」タブを選び、以下を設定する
<table>
<tr><th>項目</th><th>設定内容</th></tr>
<tr><td>DHCP</td><td>使わない</td></tr>
<tr><td>IP アドレス</td><td>192.168.1.20</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>255.255.255.0</td></tr>
<tr><td>デフォルトゲートウェイ</td><td>192.168.1.1</td></tr>
<tr><td>DNS サーバー</td><td>192.168.1.1</td></tr>
</table>
本機
「通信設定」画面で、以下の項目を設定する
<table>
<tr><th>項目</th><th>設定内容</th></tr>
<tr><td>IP アドレス設定</td><td>自動取得→しない</td></tr>
<tr><td>IP アドレス</td><td>192.168.1.15</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>255.255.255.0</td></tr>
<tr><td>デフォルトゲートウェイ</td><td>192.168.1.1</td></tr>
<tr><td>DNS 設定</td><td>自動取得→しない</td></tr>
<tr><td>DNS アドレス（プライマリ）</td><td>192.168.1.1</td></tr>
</table>
</td><td>24</td></tr>
<tr><td>本機で対応しているディスクですか。</td><td>• 非対応のディスクには、ダビングできません。
• DVDにダビングする場合は、CPRM対応のディスクのみ使用できます。
• ファイナライズやソフトプロテクトしたディスクにはダビングできません。</td><td>46
47</td></tr>
<tr><td>ディスクは初期化しましたか。</td><td>• 初めてお使いになるディスクは、初期化をする必要があります。</td><td>10</td></tr>
<tr><td>ダビング元の機器（テレビやレコーダー）との接続は正しいですか。</td><td>• 正しく接続されているか、確認してください。</td><td>11
22</td></tr>
<tr><td>ぴったりダビング対応のテレビから、DVDにダビングしようとしていませんか。</td><td>• ダビング先がDVDのとき、ぴったりダビング「しない」を選ぶと、ダビングを開始できなかったり、短い時間分しかダビングできないことがあります。DVDにダビングするときは、「はい」を選んでください。</td><td>17
18</td></tr>
<tr><td colspan="3">ダビングを途中で止めたい</td></tr>
<tr><td>－</td><td>• ダビングを開始したテレビやレコーダーなどから、ダビング中止の操作をしてください。
• 本機から中止する場合は、ダビング中に ■ または 終了 を押し、表示される画面に従って中止してください。</td><td>－</td></tr>
</table>

その他

困ったときは？ つづき

確認すること	解決法・その他	ページ
ダビングが失敗した		
お使いのテレビはぴったりダビング対応機種ですか。	• お使いのテレビがぴったりダビング非対応機種で、録画モードに「オート（標準）」を選んでいると、ディスクの容量を超える番組は、ダビングが中止されます。番組の時間に合わせて「オート（標準）」以外の録画モードを選んで、ダビングし直してください。	9
ダビング元の機器が、無線LANを使ってネットワークに接続していませんか。	• お使いのテレビなどが無線LANを使ってネットワークに接続しているときは、ダビングに失敗することがあります。その場合は、LANケーブルを使って接続してください。	−
−	• 電波が弱い放送を録画したときなど、番組にエラーが含まれることがあります。このような番組は、正常にダビングできない場合があります。	−
ダビングしたら、画質が落ちる		
ダビングしたい映像に合わせて、録画モードを設定していますか。	• ダビングしたい映像時間に対して、録画モードの時間が長すぎるときなどは、画質が悪くなる場合があります。「オート（標準）」に対応していない機器からダビングする場合は、あらかじめ映像時間を調べて、録画モードを設定しておいてください。	8 9
ダビングしたい番組やデータの容量が大きすぎませんか。	• ぴったりダビング対応機種から録画モードを「オート（標準）」でダビングするときに、番組やデータがディスクの容量を超えるときは、ディスクに収まるように画質を落としてダビングされます。	9
−	• ディスクの種類によって、同じ録画モードを設定していても、変換される画質レートは異なります。	53
ダビングしたら、複数あった音声や映像、字幕が選べなくなった		
二カ国語放送の音声ですか。	• 音声 で切り換えられないときは、テレビ側の音声切り換えをお試しください。	−
録画モードで「オート（標準）」以外を選んでいる、またはダビング先がDVDになっていませんか。	• ブルーレイディスクへ画質を変換してダビングする場合は、複数の映像を記録できません。また、複数の音声は2つだけ記録され、二カ国語放送の主音声・副音声以外は選べなくなるので、ご注意ください。 • DVDへダビングする場合は、複数の映像は１つのみ、音声は主音声のみ記録されます。また、DVDに字幕を記録することはできません。	8 8
5.1chサラウンドや、字幕放送をダビングしたい		
ブルーレイディスクを用意していますか。	• DVDディスクにダビングすると、5.1chサラウンドは2chで、字幕放送は字幕なしで記録されます。	−
暗証番号を忘れてしまった（視聴制限レベル・BD-Live設定）		
−	• 「設定を出荷時に戻す」を行うと、新しく設定し直すことができます。	43

仕様

形名	D-BR1
電源	AC 100V 50/60Hz 共用
消費電力	**待機時**：0.6W **動作時**：12W（USB電源供給時16W）
半導体レーザー波長	**CD**：787nm、**DVD**：657nm、**ブルーレイディスク**：405nm
外形寸法	**幅** 238 × **高さ** 33 × **奥行** 202mm （突起部含む） **幅** 238 × **高さ** 33 × **奥行** 196mm （突起部含まず）
質量	1.2kg
映像出力端子＊1	1.0V（p-p）、75Ω、同期負、ピンジャック×1系統
音声出力端子	2.0V（rms）、出力インピーダンス2.2kΩ以下、ピンジャック（L、R）×1系統
音声（ビットストリーム／ PCM）出力端子	光コネクター×1系統
HDMI出力端子	19ピン type A 端子×1系統
USB端子	USB×1系統（1系統あたり最大500mA）
LAN端子	100BASE-TX/10BASE-T×1系統
録画モード＊2	**●ブルーレイディスク** **オート（標準）**：24～ 1.4Mbps （DR記録モード＝24Mbps（BSデジタル）/17Mbps（地上デジタル）） **3時間モード**：約17Mbps **4時間モード**：約13Mbps **6時間モード**：約8.7Mbps **●DVD** **オート（標準）**：4.6～ 1.0Mbps （2時間録画モード＝4.6Mbps） **3時間モード**：約3.2Mbps **4時間モード**：約2.4Mbps **6時間モード**：約1.6Mbps
録画方式	**ブルーレイディスク**：MPEG2-TS/MPEG4 AVC-TS **DVD**：MPEG2-PS
録音方式	**ブルーレイディスク**：MPEG-2 AAC **DVD**：Dolby Digital 192Kbps
使用環境条件	使用周囲温度：5℃～ 35℃ 使用周囲湿度：20%～ 80%（結露のないこと）

＊1 映像出力端子を使って視聴する場合は、見るナビを表示したときなどに、端の文字やマークの一部が表示されません。

＊2 複数の映像や音声があるタイトルを、画質を変換してダビングする場合は、映像は一つだけ記録されます。また、音声はブルーレイディスクには二つ、DVDには一つだけ記録されます。

● 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。

● 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。

● イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。

言語コード一覧

コード	言語名	コード	言語名	コード	言語名
AA	アファル語	IE	国際語	RN	キルンディ語
AB	アブバジア語	IK	イヌピック語	RO	ルーマニア語
AF	アフリカーンス語	IN	インドネシア語	RU	ロシア語
AM	アムハラ語	IS	アイスランド語	RW	キニャルワンダ語
AR	アラビア語	IT	イタリア語	SA	サンスクリット語
AS	アッサム語	IW	ヘブライ語	SD	シンド語
AY	アイマラ語	JA	日本語	SG	サンゴ語
AZ	アゼルバイジャン語	JI	イディッシュ語	SH	セルビアクロアチア語
BA	バジキール語	JW	ジャワ語	SI	シンハラ語
BE	ベラルーシ語	KA	グルジア語	SK	スロバキア語
BG	ブルガリア語	KK	カザフ語	SL	スロベニア語
BH	ビハーリー語	KL	グリーンランド語	SM	サモア語
BI	ビスラマ語	KM	カンボジア語	SN	ショナ語
BN	ベンガル語、バングラ語	KN	カンナダ語	SO	ソマリ語
BO	チベット語	KO	韓国語	SQ	アルバニア語
BR	ブルトン語	KS	カシミール語	SR	セルビア語
CA	カタロニア語	KU	クルド語	SS	シスワティ語
CO	コルシカ語	KY	キルギス語	ST	セストゥ語
CS	チェコ語	LA	ラテン語	SU	スンダ語
CY	ウェールズ語	LN	リンガラ語	SV	スウェーデン語
DA	デンマーク語	LO	ラオス語	SW	スワヒリ語
DE	ドイツ語	LT	リトアニア語	TA	タミール語
DZ	ブータン語	LV	ラトビア語、レット語	TE	テルグ語
EL	ギリシャ語	MG	マダガスカル語	TG	タジク語
EN	英語	MI	マオリ語	TH	タイ語
EO	エスペラント語	MK	マケドニア語	TI	ティグリニャ語
ES	スペイン語	ML	マラヤーラム語	TK	トゥルクメン語
ET	エストニア語	MN	モンゴル語	TL	タガログ語
EU	バスク語	MO	モルダビア語	TN	セツワナ語
FA	ペルシャ語	MR	マラータ語	TO	トンガ語
FI	フィンランド語	MS	マレー語	TR	トルコ語
FJ	フィジー語	MT	マルタ語	TS	ツォンガ語
FO	フェロー語	MY	ミャンマー語	TT	タタール語
FR	フランス語	NA	ナウル語	TW	トウィ語
FY	フリジア語	NE	ネパール語	UK	ウクライナ語
GA	アイルランド語	NL	オランダ語	UR	ウルドゥ語
GD	スコットランドゲール語	NO	ノルウエー語	UZ	ウズベク語
GL	ガルシア語	OC	プロバンス語	VI	ベトナム語
GN	グアラニ語	OM	アファン語（オロモ語）	VO	ボラピュク語
GU	グジャラート語	OR	オリヤー語	WO	ウォロフ語
HA	ハウサ語	PA	パンジャブ語	XH	コーサ語
HI	ヒンディ語	PL	ポーランド語	YO	ヨルバ語
HR	クロアチア語	PS	パシュトー語	ZH	中国語
HU	ハンガリー語	PT	ポルトガル語	ZU	ズール語
HY	アルメニア語	QU	ケチュア語		
IA	国際語	RM	ラエティ＝ロマン語		

本機で使用している登録商標について

● HDMI、HDMI ロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。

● ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

● DTS は、DTS, Inc. の登録商標です。
DTS-HD Master Audio | Essential は、DTS, Inc. の商標です。
Manufactured under license under U.S. Patent Nos: 5,956,674; 5,974,380; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS-HD, the Symbol, & DTS-HD and the Symbol together are registered trademarks & DTS-HD Master Audio | Essential is a trademark of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

● Blu-ray Disc™（ブルーレイディスク）、Blu-ray™（ブルーレイ）、Blu-ray 3D™、BD-Live™、BONUSVIEW™、AVCREC™及び関連ロゴはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。

● DVD ロゴはDVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

● “AVCHD ”および“AVCHD ”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

● Oracle とJava は、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

● “x.v.Color ”および“x.v.Color”ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

● 本機は、Rovi Corporation ならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用は Rovi Corporationの認可が必要であり、Rovi Corporation の認可なしでは、一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

● 本機は、AACS（Advanced Access Content System）とCPRM（Content Protection for Recordable Media）著作権保護技術を採用しています。AACS とは、ディスクに含まれるコンテンツやタイトル（1 回だけ録画可能番組も含む）を保護する技術のことです。また CPRM とは、コピー制限のある番組に対する著作権保護技術です。

● Copyright 2004-2010 Verance Corporation. Cinavia™はVerance Corporation の商標です。
米国特許第7,369,677号およびVerance Corporationよりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。
すべての権利はVerance Corporationが保有します。

※ その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の登録商標です。

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。
本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。
「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントのお問い合わせに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。
ホームページアドレス
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/
また、本機のソフトウェアコンポーネントには、東芝自身が開発または作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェアおよびそれに付帯したドキュメント類には、東芝の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項および他の準拠法によって保護されています。
「EULA」の適用を受けない東芝自身が開発または作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。
ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証を付けないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。
本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント **原文**

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel busybox iptables fusion Bootloader Ethernet driver USB driver SATA driver ALSA driver Libpng Libjpeg Zlib	Exhibit A

対応ソフトウェアモジュール	
glibc gcc DirectFB MIPS GNU tool chain ALSA library	Exhibit B
malloc	Exhibit C
OpenSSL	Exhibit D
FreeType	Exhibit E

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）

E x h i b i t A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation,Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.
When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.
To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.
For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.
We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.
Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.
Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.
The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License;they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.
1.You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.
You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2.You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is

derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License.

(Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program,and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3.You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code,which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any thirdparty, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless

that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4.You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5.You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6.Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7.If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8.If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9.The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10.If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11.BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

E x h i b i t B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/ or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a

version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. Toachieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0.This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/ or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1.You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2.You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely welldefined independent of the application.

Therefore, Subsection 2d requires that any applicationsupplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3.You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4.You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5.A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6.As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7.You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8.You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9.You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10.Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library", the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11.If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in

other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12.If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13.The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14.If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15.BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/ OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1990
Ty Coon,President of Vice
That's all there is to it!

E x h i b i t C

This is a version (aka dlmalloc) of malloc/free/realloc written by Doug Lea and released to the public domain.

Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints,
performance data, etc to dl@cs.oswego.edu
VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)
Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at
ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c
Check before installing!

E x h i b i t D

LICENSE ISSUES
==============

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.
See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

==
Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
*
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
==
This product includes cryptographic software written by Eric You * (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.
The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions

are met:
1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
*
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

E x h i b i t E

The FreeType Project LICENSE
2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報 つづき

Introduction
=========

The FreeType Project is distributed in several archive packages;
some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to,the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license.
The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion
and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

o We don't promise that this software works. However, we will beinterested in any kind of bug reports. (`as is' distribution)

o You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. (`royalty-free' usage)

o You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used theFreeType code. (`credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products.
We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

"""
Portions of this software are copyright □ <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
"""

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms
===========

0. Definitions

Throughout this license, the terms `package', `FreeType Project', and `FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the `FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

`You' refers to the licensee, or person using the project, where `using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a `program' or `executable'. This program is referred to as `a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive.
If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED `AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

o Redistribution of source code must retain this license file (`FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.

o Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files.
If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: `FreeType Project', `FreeType Engine', `FreeType library', or `FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it.
Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

o freetype@nongnu.org
Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

o freetype-devel@nongnu.org
Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at
http://www.freetype.org

• 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。

※Portions of this software are copyright © 1996-2007 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

※This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/).

※This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

※この製品には PPxP 開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。

※この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、および変更することは禁止されています。ただし、LGPL が適用されるソフトウェアについては、お客様ご自身の個人的使用のための改変にかかるデバッグのためである場合は、この限りではありません。

～必ず最初にお読みください～

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ､安全に正しくお使いいただくために､重要な内容を記載しています｡次の内容（表示･図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表　示	表 示 の 意 味
警告	“取扱いを誤った場合､人が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること” を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
禁　止	“⃠” は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指　示	“●” は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注　意	“△” は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告

異常や故障のとき

煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
安全を確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

プラグを抜け

落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

プラグを抜け

内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

プラグを抜け

電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、すぐに電源を切り、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

プラグを抜け

安全上のご注意 つづき

⚠ 警告

設置するとき

屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かない

火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない

本機が落ちて、けがの原因となります。水平で安定したところに据え付けてください。

禁　止

電源プラグは家庭用交流 100V のコンセントに根元まで確実に差し込む

- 交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- 差し込みかたが悪いと、発熱により、火災の原因となります。
- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

指　示

上に物を置かない

- 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。また、本体内部に変形を起こし、トラブルの原因となることがあります。

上載せ禁止

コンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

指　示

時々電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、きれいに掃除する

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。
また、接触不良による故障の原因となります。（電源プラグは本体電源がオフのときに抜いてください。）

指　示

包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意する

かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

指　示

安定したところで、水平に設置する

立てて使用したいときは、別売りの縦置きキットをご購入ください。縦置きキットを使わずに立てて使用すると、本機が落ちたり転倒したりして、けがや故障の原因となります。

指　示

⚠ 警告

使用するとき

修理・改造・分解はしない

火災・感電の原因となります。
点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

雷が鳴りだしたら、本機や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

⚠警告

使用するとき　つづき

ディスク挿入口やファン、通風孔などから異物を入れない

ステープル、クリップなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

異物挿入禁止

可燃性ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃や可動部の潤滑用など、可燃性ガスを本機に使用すると、噴射される可燃性ガスが本機の内部に留まり、モーターやスイッチの接点や静電気の火花が引火して、爆発や火災が発生するおそれがあります。

禁　止

電源コード・電源プラグは

- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱しない
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

火災・感電・断線の原因となります。

禁　止

⚠注意

設置するとき

温度の高い場所に置かない

直射日光の当たる場所やストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

禁　止

背面の内部冷却用ファンや通風孔をふさがない

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。これらファンや通風孔とラックとの間は 10cm 以上離してください。

禁　止

湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

高い場所に設置しない

本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。

禁　止

風通しの悪い場所に置かない

- 壁に押しつけない
- 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まない
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- あお向け・横倒し・逆さまにしない

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

禁　止

本機の上に他の機器を載せたり、他の機器の上に本機を載せたりしない

- 本機の上面や底面は高温になるので、他の機器に損害を与える原因になることがあります。
- 本機の内部は高温になります。さらに他の機器から熱を受けると、加熱して故障や火災の原因となることがあります。

積重ね禁止

安全上のご注意 つづき

⚠注 意

使用するとき

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

引っ張り禁止

テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない

音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

禁　止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

タコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となることがあります。

禁　止

特殊形状（ハートや星、名刺タイプなど）のディスクは本機に挿入しない

取り出せなくなったり、故障の原因となります。

禁　止

移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続コードをはずす

はずさないまま運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、本機が転倒・落下し、けがの原因となることがあります。

指　示

電源を入れる前には音量を最小にする

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

指　示

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。
本体やリモコンの電源ボタンを押して電源を切った場合は、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを抜け

リモコンに使用している乾電池は、

- 指定以外の乾電池は使用しない
- 極性 [+と-] を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
- 乾電池に表示されている [使用推奨期限] を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない

禁　止

これを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もし､液が皮膚や衣類についたときは､すぐにきれいな水で洗い流してください｡液が目にはいったときは､すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

⚠注意

3D 映像を見るとき

3D 映像視聴の際には、3D 対応テレビ（ディスプレイ）および 3D 対応メガネの取扱説明書などに記載の説明事項・注意事項も十分ご確認の上、これらの事項を守って視聴してください。

てんかんの可能性がある人、光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調の悪い人は 3D 映像を見ない 症状悪化の原因となることがあります。 禁　止	**3D 映像を見ているときに、感覚に異常を感じたり、疲れを感じたり、気分が悪くなったりしたときは、見るのをやめる** そのまま見続けると体調不良の原因となることがあります。 指　示
長時間の視聴は避け、適度に休憩をとる 長時間の視聴は目の疲れの原因となることがあります。 指　示	**周囲の人や物に注意する** 3D 映像で距離感を誤って手を伸ばしたり、3D 映像を実際の物と間違えて急に身体を動かしたりすると、周囲の人にけがをさせたり、周囲の物を壊してけがをしたりする原因となることがあります。 周囲に壊れやすいものを置かないようにしてください。 注　意
3D 映像の視聴年齢は 6 歳以上を目安にする お子様が 3D 映像を視聴する場合は、保護者の方の管理のもとに、視聴の可否判断や時間制限などをしてください。 指　示	**近視の人、遠視の人、左右の視力が異なる人、乱視の人は、視力矯正メガネなどの着用で視力を矯正したうえで 3D メガネを着用する** 視力を矯正しないで 3D 映像を見ると、目の疲れや、視力がより低下する原因となることがあります。 指　示
3D 映像が二重の映像に見えたり、立体感が得られなかったりしたら、見るのをやめる そのまま見続けると目の疲れの原因となることがあります。 指　示	**画面（映像）から適正な距離で視聴する** 近づいて視聴すると、目の疲れや視力低下の原因となることがあります。使用するテレビ（ディスプレイ）の取扱説明書などで推奨される距離で視聴するようにしてください。 指　示

～必ず最初にお読みください～

使用上のお願いとご注意

取扱いに関すること

- 非常時を除いて、電源が入っている状態では電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 移動させるとき
  引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、振動が伝わらないように、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動をあたえないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部にはいると故障の原因となります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱ってください。
- ふだん使用しないとき
  必ず、ディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
- 長期間使用しないとき
  機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

- 本機をテレビやラジオ、ビデオデッキの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオデッキからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、ビデオデッキなど熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因となります。

お手入れに関すること

- お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
  ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはがれたりする原因となります。
- 油汚れ等が付いたときは、弱い中性洗剤を薄めたものを含ませて固く絞った柔らかい布で、拭き取ってください。その後、温水を含ませて固く絞った布で十分に拭き取ってください。ただし、わずかに表面が変質する場合があることは予めご承知ください。
- 1年に一度は内部の清掃を、お買い上げの販売店にご相談ください。
  本体の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

日本国内用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧やテレビ方式が異なりますので使えません。
- This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

音量について

- BD-VideoディスクやDVD-Videoディスクの中には、音楽CDなどの他のソフトよりも、音量が小さく感じられる場合があります。これらのディスクの再生のためにテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

結露(露付き)について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

- たとえば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露(露付き)”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

“結露”はこんなときおきます。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

結露がおきそうなときは、本機をすぐに使用しない

- 結露がおきた状態で本機をお使いになると、ディスクや部品を傷めることがあります。しばらくそのまま放置して、水滴が乾燥してから使用してください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作やハングアップ(操作不能)などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、損失について、当社は一切の責任を負いません。

操作説明と実際の動作

- この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。
- この取扱説明書に記載されている画面表示は、実際に表示される画面を簡略化していたり、文章表現が異なったりする場合があります。画面表示については実際の画面でご確認ください。
- ブルーレイディスク、DVDのおもな市販ソフトなどでは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容に従って再生を行うため、操作したとおりには動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。
- ボタン操作中に画面に“🚫”が表示されることがあります。“🚫”が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。

デジタル放送のコピー制限について

- デジタル放送では、ほとんどの番組にコピーワンスまたはダビング10というコピー制限があり、番組制作者などの著作権を守るための制御信号を入れて放送しています。(2004年4月から、地上/BSデジタル放送の番組が、コピー制限のある番組とされています。)

ダビング10	録画した番組は、最大10回(コピー 9回と移動1回)ダビングできます。
コピーワンス	録画した番組は、1回だけダビング(移動)ができます。
ダビング禁止	録画した番組は、ダビングできません。
コピー制限なし	録画した番組は、コピーも移動もできます。

※本機では、番組を録画することはできません。

使用上のお願いとご注意 つづき

録画・録音について

- たいせつな録画・録音の場合は、事前に試し録画・録音などしておくことをおすすめします。
- たいせつな録画をされたディスクの定期的なバックアップをおすすめします。
  ディスクの経年変化によってはデジタル信号が読み出せなくなったり、消えてしまったりする場合があります。ただし、著作権保護のため1 回だけ録画が可能な番組（コピーワンスプログラム）などの録画はバックアップをとることはできません。

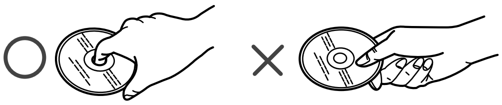
著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律で禁止されています。
- 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組は、録画をすることはできません。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。録画・録音したものを権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為なども違反になりますのでご注意ください。
  - 録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。
  - 録画した番組をメールやメッセンジャーサービスなどで他人に送る。

  また、以下の行為も著作権法違反となるおそれがありますのでご注意ください。
  - 番組を録画したビデオテープやディスクなどの媒体を友人に貸す。

  著作権法違反は刑事処罰を受けますので自己責任のもとでご利用ください。なお、著作権法違反によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本取扱説明書に記載されている名称、会社名、商品名などには、各社の登録商標や商標が含まれています。

ディスクの取り扱いについて



- 信号面（光っている面）に手を触れないように持ってください。
  指紋などがつくと、再生や記録ができなくなる場合があります。
- ディスクに紙やラベル、シールなどを貼らないでください。
- ディスクのお手入れや保管については、ディスク付属の取扱説明書をご覧ください。

クリーニングディスクについて

- 市販のレンズクリーナーやレンズクリーナーディスクは、本機では使わないでください。

ソフトウェアの更新について

- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、本機内部のソフトウェア（制御プログラム）を更新する場合があります。
- ソフトウェアの更新については、43 をご覧ください。

本機を廃棄/ 譲渡するとき

- 本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して43、記録された情報を必ず消去してください。本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

さくいん

数字・アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

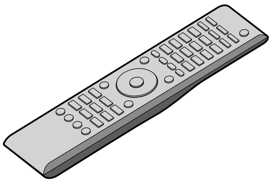
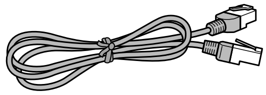
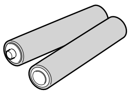
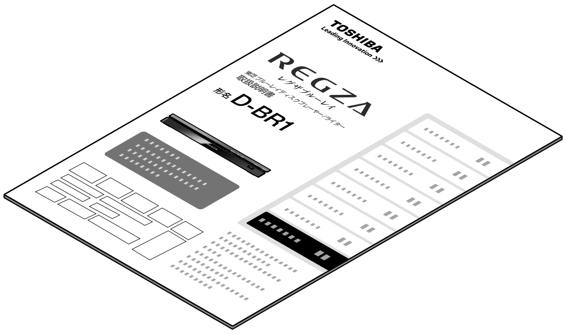
マ行

ラ行

ワ行

付属品を確認する

本機には、以下の付属品があります。お確かめください。

リモコン(SE-R0405) ／ 1個	LAN ケーブル（ストレート）／ 1 本
	
単四形乾電池／ 2個	取扱説明書(本書) ／ 1部
	

■ 本機専用の縦置きキットについて

本機を立ててお使いになりたいときは、別売りの縦置きキット（D-STK1）をご購入ください。
詳しくは、当社ホームページ http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/ などをご覧ください。

商品の保証とアフターサービス　必ずお読みください

保証書（別添）

・保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

・当社は、ブルーレイディスクプレーヤー／ライターの補修用性能部品を製造打ち切り後、８年保有しています。
・補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
・修理のために取りはずした部品は、当社で引き取らせていただきます。また、修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間
お買い上げ日から１年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは〜持込修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

商品の修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	ブルーレイディスクプレーヤー／ライター
形名	D-BR1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
便利メモ お買い上げ店名	☎（　　）　—

お客様へ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

商品を修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

東芝 DVD インフォメーションセンター

フリーダイヤル 0120-96-3755
受付時間：365 日　9:00 ～ 20:00

携帯電話からのご利用は
ナビダイヤル 0570-00-3755（通話料：有料）

PHS や IP 電話などからのご利用は
03-6830-1855（通話料：有料）

・「東芝DVDインフォメーションセンター」は株式会社東芝　デジタルプロダクツ＆サービス社が運営しております。
・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

■ 新商品などの商品選びや、お買い上げ後の基本的な取扱方法およびネットワークなどの高度な取扱方法などのご相談については裏表紙をご覧ください。

商品のお問い合わせに関して

① 基本的な取扱方法や故障と思われる場合のご確認

東芝ブルーレイ/ DVD ＜レグザ＞ お客様サポートページをご覧ください

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

② 商品選びのご相談や、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

・新製品などの商品選びのご相談

・各種ケーブルの接続などのご相談

・再生などの基本操作

注）ネットワーク接続設定を除きます。

上記についてのお問い合わせは

『東芝 DVD インフォメーションセンター』

0120-96-3755

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません
※間違い電話が増えております。電話番号をよくお確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。

受付時間：365 日　9:00 ～ 20:00

携帯電話からのご利用は	ナビダイヤル（通話料：有料）	**0570-00-3755**
PHS や IP 電話からのご利用は	（通話料：有料）	**03-6830-1855**
FAX	（有料）	**03-3258-0470**

③ 本機に関するネットワークなどの高度な取扱方法

・ネットワークに関してのご相談

・ダビングなどの高度な操作について

上記についてのお問い合わせは

『RD シリーズサポートダイヤル』　ナビダイヤル（通話料：有料）**0570-00-0233**

（PHS・一部の IP 電話などでは、ご利用になれない場合があります）

受付時間：365 日　9:00 ～ 18:00

お問い合わせの前に、本機の形名と製造番号（⇨添付の保証書）とソフトウェアのバージョン 43 をご確認ください。

形名：	製造番号：	ソフトウェアのバージョン：

●「東芝 DVD インフォメーションセンター」「RD シリーズサポートダイヤル」は株式会社東芝　デジタルプロダクツ＆サービス社が運営しております。
●お客様の個人情報は、「東芝個人情報保護方針」に従い適切な保護を実施しています。
●お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
●東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

★長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤー／ライターの点検を！

愛情点検

このような症状はありませんか		お願い
	● 再生しても音や映像が出ない ● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 水や異物がはいった ● ディスクが傷ついたり、取り出しができない ● 電源コード、プラグが異常に熱くなる ● その他の異常や故障がある	故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

株式会社 東芝

デジタルプロダクツ＆サービス社

〒105－8001　東京都港区芝浦1－1－1

＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

79105424
ⒹGX1D00007550